

会長のページ サウンド・バイト(sound bite)	稲倉 正孝	3
日州医談 小児救急医療を考える	佐藤 雄一	4
宮崎県医師会電子カルテに関するアンケート結果	荒木 早苗	6
随 筆 アラクノハンティング	北村 和生	10
エコー・リレー(445)	三嶋 和也, 大安 剛裕	12
国公立病院だより(社会保険宮崎江南病院)	石川 正	20
宮崎大学医学部だより(内科学講座神経呼吸内分泌代謝学分野)	山口 秀樹	22
部会だより(医療法人部会)	鯨島 哲也	23
メディアの目 日向かぼちゃといもがらぼくと	森 耕一郎	24
ニューメンバー	中崎 秀二, 齋藤 真美	40
診療メモ 性同一性障害について	中山 健	60

表彰・祝賀	9
あなたできますか?(平成23年度医師国家試験問題より)	13
宮崎県感染症発生動向	14
各都市医師会だより(西臼杵郡医師会, 宮崎大学医学部医師会)	16
県医師会在宅医療協議会と各都市医師会介護保険担当理事との合同協議会	25
医師国保組合だより	26
日医インターネットニュースから	28
薬事情報センターだより(304 不活化ポリオワクチン(IPV))	32
ベストセラー	33
理事会日誌	34
県医の動き	39
追悼のことば	41
会員の異動・変更報告	42
ドクターバンク情報	43
行事予定	47
医学会・講演会・日医生涯教育講座認定学会	49
あ と が き	64
~~~~~	
お知らせ クールビズについて .....	21
県医師会在宅医療協議会入会のご案内 .....	33
郡市医師会への送付文書 .....	62
ご 案 内 第114回九州医師会総会・医学会 .....	30

## 医 師 の 心 得

1. 私たちは、皆さまの  
健康状態をよくお聞きします。
2. 私たちは、皆さまに  
最善の医療を提供できるよう心がけます。
3. 私たちは、皆さまに  
医療内容をよく説明し、一緒に医療を行います。
4. 私たちは、皆さまの  
「知る権利」・「知りたくない権利」を大切にします。
5. 私たちは、皆さまの  
健康維持と医療の質の向上に尽くします。

公益社団法人 宮崎県医師会

(平成 14 年 3 月 12 日制定)

_____  
_____

## 会長のページ

## サウンド・バイト(sound bite)

いな くら まさ たか  
稲 倉 正 孝

“Yes, we can.”, “Change”, “Hope”等の短い文章・語句と独特な「語り口」で、オバマ氏は人種や政治信条などの壁を超えて「アメリカ合衆国民の団結」を訴え、米国大統領に当選したと言われている。牧師のような語り口で、わかりやすく、強弱を付けてゆっくりと繰り返してもくどくない絶妙なバランスのスピーチの名手である。演説のうまさは「キング牧師」を彷彿させる。

政治家は自分の考え・活動ぶりをわかりやすく説明し、印象付けるためにスローガン・キャッチフレーズなど短い文章・言葉を好んで用いてきた。長い演説・インタビューの中で、演者が言おうとしていることを正確に表現している、響きの良いインパクトのある短い文章・語句がサウンド・バイト(sound bite)である。

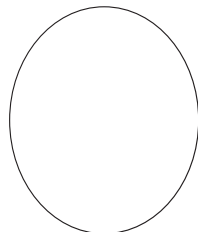
テレポリティクス(telepolitics)とも表現される米国政治でテレビ・インターネット・新聞等の影響がどれだけ大きいかを考えた場合、サウンド・バイトは一層重視され、より短く、分かりやすく、歯切れよく、国民が覚えやすいように進化していく。「人民の、人民による、人民のための…」と高らかに宣したリンカーン大統領のゲティスバーグ演説は言うに及ばず、「国が何をしてくれるかより、国のために何ができるか考えろ」と国民に迫ったJ.F.ケネディ大統領、イラク攻撃を正当化した「悪の枢軸」発言のG.W.ブッシュ大統領等、歴史を動かした「名文句」は我々の記憶に強烈に残っている。

日本の歴代の総理大臣も政治理念を国民に広めるために、長年にわたってキャッチフレーズ、サウンド・バイトを用いてきた。池田勇人首相の「所得倍増論」・「寛容と忍耐」、田中角栄首相の「日本列島改造論」・「決断と実行」、中曽根康弘首相の「戦後政治の総決算」・「国際国家日本」などが挙げられるが、真面目すぎて面白味がなく、耳で聞いて快い調子ではなく、記憶に残らないものが大半である。日本でサウンド・バイトを最も効果的に使ったのは小泉純一郎首相である。「聖域なき構造改革」・「郵政民営化」・「自民党をぶっ壊す」・「三方一両損」・「抵抗勢力」・「米百俵」など強烈な短い言葉・語句を多用し、通算1,980日(5年5か月余)の長期政権を担当した。民主党は「国民の生活が第一」・「子ども手当」で政権交代を果たした。最近では橋下徹大阪市長の「大阪維新の会」・「維新八策」、河村たかし名古屋市長の「減税日本」などが有名である。

短くて、耳当たりが良くて、すぐに覚えられる言葉、それがサウンド・バイトの条件である。短い言葉なので覚えやすく、脳細胞を操り、しかも自分に都合の良いように解釈させ、思考を停止させる不思議な力がある。我々は、その短い文章・語句の背景にある意義、狙い等について注意深く、洞察する必要がある。中国に「羊頭狗肉」ということわざがある。

(平成 24 年 9 月 3 日)

## 日州医談



## 小児救急医療を考える

常任理事 さとう ゆう いち  
佐 藤 雄 一

大きな社会問題として小児救急医療が取り上げられるようになって久しい。我が国の幼児の救急患者の死亡率が先進国の中でも高いことから、重篤小児の救急医療体制(特に小児集中治療)の充実が図られるようになってきている。

一方、軽症の初期患者が救急部門に押しかけ、そのために小児の2次・3次救急医療を圧迫している現状も放置できないものがある。背景には保護者の我が子と思う気持ちがあり、これを咎めることはできない。情報の氾濫で疾病に対する考えも変化し混乱している中で保護者は「子どもの病気は軽症ですませたい」と思い、子どもの病気を的確に診療治療し、それとともに自分の不安を解消してもらうことを期待しているのである。また、マスコミ等での疾病のセンセーショナルな取り上げ方で保護者の不安感は強まり専門医志向はますます高まっている。このような状況をみて、救急外来は時間外診療、コンビニ診療、不要不急の診療の場になり、一方では「保護者の受診行動」を問題視する医療関係者が多く見られるようになっている。保護者と医療関係者との救急医療に対する認識の差は大きくなるばかりである。

先日、宮崎大学医学部学生が「宮崎市夜間急病センター利用実態調査報告」を発表し大きな反響を呼んだ。地元紙宮崎日日新聞だけでなく全国紙でも取り上げられ、ご覧になった方も多いと思う。内容を小児科について見ると、2011年8月1日～7日の一週間に夜間急病センター小児

科を受診した患児は199名で、翌日まで受診を待てたと考えられる軽症は73%で、センターの利用が2回目以上の患児が70%を占め5回目以上は30%に上り同じ人が何度も利用している実態が報告されている。未就学児が極端に多く、受診理由で一番多かったのは親の不安であり、親の都合での受診も20%を超えていた。まとめとして、「小児科受診の背景には、親の都合や不安感があるものと思われた。また、#8000(小児救急医療電話相談事業)の認知度は高くなかった。安易な受診者が多く、夜間急病センターについて市民の理解を促す必要性が感じられた」と述べられている。しかしながら「軽いから受診するな」と言うだけでは小児救急外来の問題は解決しない。

このような状況を解決し小児救急医療を維持していくには保護者への啓発と教育、医療供給体制の整備が必要なのは当然である。平成20年に出された宮崎県地域医療計画の小児医療に関する記載でも、具体的施策に「夜間急病センター等の充実」、[子どもを持つ家庭への相談体制等の充実]が挙げられている。これを受けて小児の初期救急医療体制は、小児医療圏毎に対応しているところである。また、家庭への相談体制等の充実を図るために、県からの委託事業として小児救急医療電話相談事業、訪問救急救室事業を県小児科医会の全面的な協力の元を実施している。小児救急医療電話相談事業は小児救急患者の保護者等からの電話による相談を受けるこ

とにより、その不安を軽減するとともに、小児救急医療機関への不要な受診を抑制することで、小児科救急医の負担軽減を図り、本来の小児救急患者への対応に専念できる体制づくりを進めることを目的として、本県では平成 1 年から始められ、平成 22 年度から 365 日体制で午後 7 時から 1 時までに行っている。利用件数は確実に増えており年間 4,000 件を超えている。訪問救急教室事業は医師等が保育所や幼稚園に出向き、保護者等を対象に小児救急医療の基礎知識や受診のあり方等について講座を開催するもので、①安易な時間外受診の抑制、②受診の見極め等に関する基礎知識の習得、③かかりつけ医の促進を目的として平成 2 年度から行われ、毎年 25 回以上の講座が開催されている。今後も、これらの事業を継続し、状況改善を図ることは必要であるが、今回の学生のレポートにもあるように、小児救急外来の問題点の解決には十分ではない。このような現状の中で、子どもに携わる我々医師にできること、やるべきことと問題点を検討した。

まず、予防接種をしっかりと接種し「ワクチンで防げる病気」をきっちりと予防することは、子ども達の疾病を減らすこととなり、結果として小児救急外来受診者の減少へつながる。日本の予防接種体制もようやく諸外国に迫いついてきており、公費で接種できるワクチンの種類も増えてきた。また、予防接種は原則個別接種で行われており、接種医療機関での保護者への啓発・教育の良い機会でもある。また、物心ついた被接種者の子どもに予防接種の必要性を言い聞かせることは次世代への健康教育につながり大切なことである。次に、新生児期から乳幼児期に

続く健診体制をしっかりと築き、たんなる健康チェックだけでなく、保護者の育児支援につながる育児相談とともに子どもの病気の啓発・教育を行うことによって小児救急外来受診者の減少が期待できる。また、幼児期から始まる、小学校、中学校、高等学校での子ども達への健康教育も大切である。子どもの時から病気や健康の教育を受けることによって親になった時に適切な育児を行うことが期待できる。単に保護者への啓発・教育だけでなく世代間継承される息の長い健康教育が必要である。その他にも我々ができることがあるのではなかろうか？良い意味での医師のパターナリズムは必要であり、我々の義務でもある。会員諸氏の積極的な対応を望むものである。

我々にできると思われることを列記したが、予防接種・健診・健康教育等が子ども達(保護者)にきっちりと提供され結果として小児救急外来の問題を少しでも解決していくためには、行政のしっかりした息の長い体制作りが重要であることはいうまでもない。市町村毎の細切れ行政ではなく、全県的に統一された体制作りが望まれる。

最後に、私の臨床小児科の恩師故梶原昌三先生から「小児科医は夜作られる」とよく言われた。「救急医療こそ小児科医の醍醐味であり生き甲斐である」と肝に銘じている。

#### 参考文献

- 1) 田代和馬他(宮崎大学医学部学生)：宮崎市夜間急病センター利用実態調査報告
- 2) 市川光太郎：小児救急外来における問題点—日本の現状. 小児内科 44: 356- 360 2012



## 日州医談

## 宮崎県医師会電子カルテに関するアンケート結果

常任理事 ^{あら}荒 ^き木 ^さ早 ^{なえ}苗

近年、電子カルテを導入する医療機関が徐々に増えてくるに伴い、契約時の説明不足によるトラブルや、サポートに関する不満などの声が県医師会にも寄せられるようになった。県医師会では診療支援として有用な電子カルテ普及を目指すとともに、トラブルなく安心して使用していただく環境づくりが必要であると考えている。そこで、実態把握のために診療所向けのアンケート調査を行ったので、結果を報告する。

## 対象・実施方法

対象は、宮崎県内の診療所(有床・無床)(682施設)で、2月下旬に郵送でアンケート用紙を送り、結果はFAXにて回収した。

## 回答数

対象682施設中498施設より有効回答があり、アンケート回収率は73.0%であった。

## 結果

## 1. 電子カルテ導入状況

電子カルテ「導入済み」の診療所は無床診療所で71/349施設(20.3%)、有床診療所で13/149施設(8.7%)であった(表1)。「導入検討中」と回答したのは無床診療所で46/349施設(13.2%)、有床診療所で39/149施設(26.2%)、「導入予定なし」と回答したのは無床診療所で232/349施設(66.3%)、有床診療所で97/149施設(65.1%)であった。

診療科別導入状況を図1、院長の年齢別導入状況を図2に示す。

また、開業年別で電子カルテの導入状況を見ると、開業後1年未満の医療機関は8施設中6施設(75%)が導入、1年～3年では15施設中8施設(53%)、3年～5年では17施設中10施設(59%)と5割を超えていた(図3)。

以下、電子カルテを導入している医療機関(84施設)へのアンケート結果である。

## 2. 電子カルテ導入時期

電子カルテの導入時期は表2のとおり。

## 3. 電子カルテのメーカー

最も多かったのがダイナミクスで2施設、以下、BM L(16施設)、富士通(12施設)、三洋電機(5施設)、コアクリエイトシステム(4施設)、東芝メディカル(3施設)、ユヤマ(3施設)と続き、その他にも1社の電子カルテが導入されていた。

## 4. 初期導入費と保守料

初期導入費の分布を表3に示す。初期導入費の平均は372万円であった。100万円未満の診療所が15施設ある一方、1,000万円以上の診療所も3施設あった。100万円台までの診療所はダイナミクスまたはワインスタイルであった。1,000万円以上の施設はクライアント台数が多かった。

保守料については年額、月額の回答があったが、年額に換算したものを表4に示す。

## 5. 電子カルテの契約時の説明、導入後の対応

電子カルテの導入時に、契約に関する重要事項(障害時の対応や更新・リプレース時のデータ移行等)の説明があったかどうかの質問に対して、「あった」と回答したのは5施設、「なかった」が8施設、「覚えていない」が2施設、未回答が4施設であった。

故障・トラブル時の基本的な対応方法については、「オンライン」が33施設、「担当が自院に来る」が28施設、「電話・メールで指示を受けて自分で行う」が28施設、未回答が1施設であった。

表 1. 無床・有床診療所別電子カルテ導入状況

	無床診療所		有床診療所		総 計	
	数	割合	数	割合	数	割合
導入済み	71	20.3%	13	8.7%	84	16.9%
検討中	46	13.2%	39	26.2%	85	17.1%
予定なし	232	66.5%	97	65.1%	329	66.1%
総計	349	100%	149	100%	498	100%

表 2. 電子カルテ導入時期

導入時期	H 9	H 10	H 11	H 12	H 13	H 14	H 15	H 16	H 17	H 18	H 19	H 20	H 21	H 22	H 23	合計
医療機関数	1	2	0	3	3	5	3	5	11	10	6	10	6	7	12	84

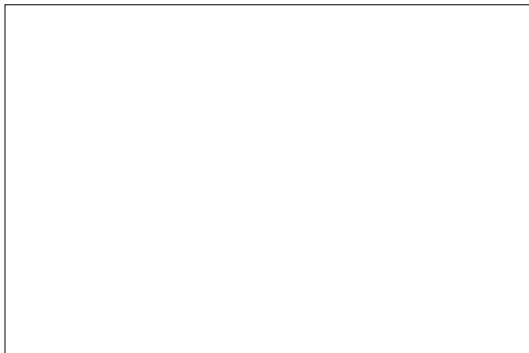


図 1. 診療科別電子カルテ導入状況



図 2. 院長の年齢別電子カルテ導入状況(施設数)

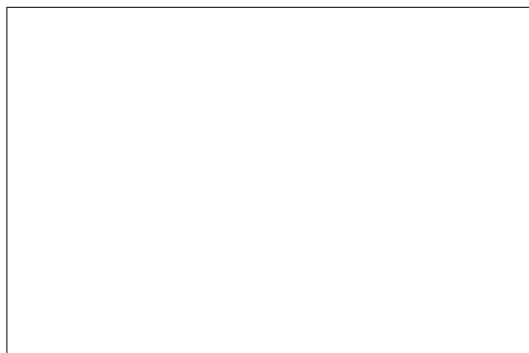


図 3. 開業年別電子カルテ導入状況

表 3. 初期導入費

区分	診療所数
100万円未満	15
100万円台	9
200万円台	8
300万円台	13
400万円台	11
500万円台	9
600万円台	6
700万円台	2
800万円台	1
900万円台	1
1,000万円以上	3
未回答・その他	6
総 計	84

表 4. 保守料(年額換算)

区分	診療所数
10万円未満	3
10万円台	18
20万円台	6
30万円台	14
40万円台	13
50万円台	8
60万円台	7
80万円台	2
90万円台	2
100万円以上	7
未回答・その他	4
総 計	84

停電時の備えについての質問については、「非常電源装置」が5施設、「紙に印刷している」が6施設あり、その他の回答として、停電時には紙カルテを併用(5施設)、発電機や太陽光発電の利用、ノートパソコンの充電機能利用の他、診療をストップまたは休業すると回答した施設もあった。また「停電時の対応を特にしていない」との回答も8施設あった。

#### 6. 電子カルテのウイルス対策について

電子カルテのウイルス対策をしているかという質問に対し、「している」が45施設、「していない」が3施設、「わからない」が4施設、未回答が1施設であった(図4)。また、これまでに電子カルテにウイルスが検出されたことがあるかという質問に対しては、「ある」が11施設(13%)、「ない」が72施設(86%)、未回答が1施設(1%)であった(図5)。

電子カルテのウイルス対策について「インターネットには接続していない」、「外部と接続しない」、「院内クローズドLANにしている」等の意見が最も多かったが、「外部と繋いでいないのでウイルス対策は必要ない」とは言えず、実際、「インターネットには接続していないし、自分で何かをインストールしたり、データのやり取りをしたことはないので大丈夫と思っていたら、ウイルスに感染していた」という回答もあった。

その他の意見としては、「ウイルス対策ソフトを入れる」、「ソフトを常に更新する」、「USB

などからデータを取り込む際には必ずウイルスチェックをかける」という対策や、「ウイルス対策にかかる費用が高い」、「ウイルス感染した場合の責任や対応」などの問題も挙げられていた。

今回のアンケートは、医療機関より電子カルテのウイルス感染について県医に相談があったことから実施した。アンケート実施後、ウイルス感染の相談のあった電子カルテメーカーに県内の顧客医療機関のウイルスチェックを依頼したところ23施設の利用者のうち2施設よりウイルス感染が確認され、駆除を行ったとのことであった。2施設ともタイプの違うウイルスであり、USBメモリが感染源と考えられた事例である。電子カルテメーカーにはより安全な機器開発と安全な通信インフラの整備、きめ細かい利用者への情報提供を申し入れた。

今後ますます電子カルテは普及していくと考えられるが、ウイルス感染による電子カルテデータの破損や漏洩は影響が甚大である。電子カルテを導入されている先生方におかれましては、情報セキュリティの重要性や対策に関して、すべてのスタッフへの周知、教育もお願いしたい。

また、これから電子カルテの導入をされる先生方には、導入費用だけでなく、保守の内容や電子カルテ更新時の診療情報データの移行などについても十分検討して選択していただきたい。

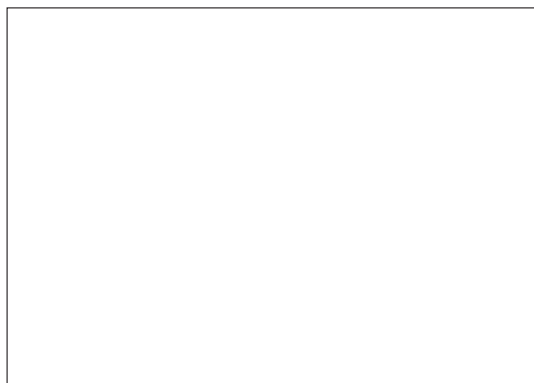


図4. 電子カルテのウイルス対策(施設数)

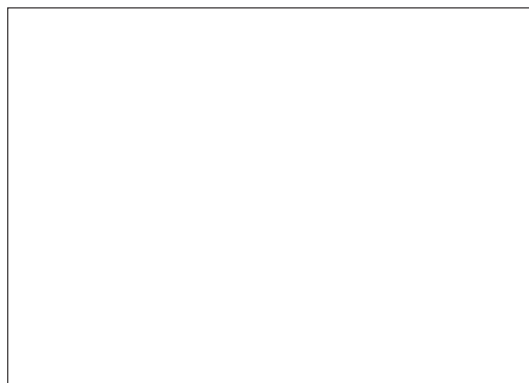


図5. 電子カルテのウイルス検出経験

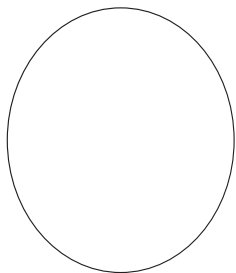


## 表彰・祝賀

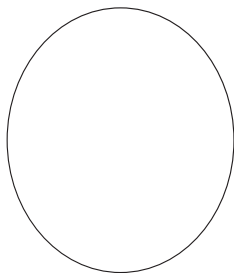
## 医療功労者県知事表彰

た	なか	とし	まさ	先生（宮崎）
田	中	俊	正	
お	やま	よし	たか	先生（都城）
小	山	義	貴	
ひ	だか	たか	のり	先生（延岡）
日	高	隆	徳	
なか	しま	きよ	み	先生（日向）
中	島	清	美	
たか	しま	あきら		先生（児湯）
高	嶋	章		
おお	もり	しん	どう	先生（西諸）
大	森	臣	道	

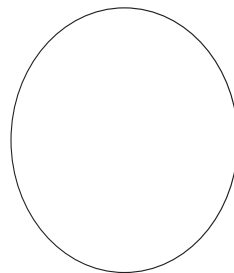
6 月 23 日、県医師会館において医療功労者として県知事表彰をお受けになりました。衷心より祝意を表しますと共に、今後ますますのご活躍を祈念いたします。



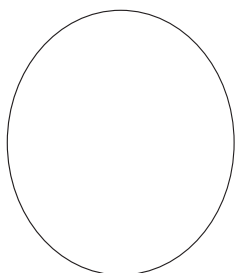
田中 先生



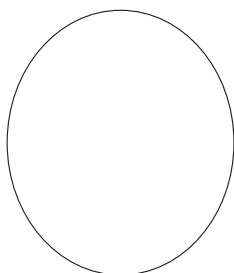
小山田 先生



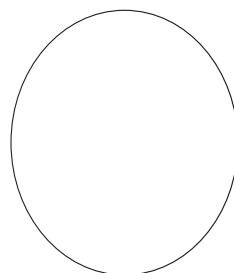
日高 先生



中島 先生

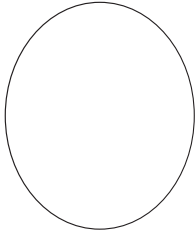


高嶋 先生



大森 先生

## 随 筆



## アラクノハンティング

日南市 北村胃腸科眼科 ^{きた}北 ^{むら}村 ^{まさ}和 ^お生

開院当初、深夜に外来に降りると、手の平を広げたほどもある巨大な家グモによくお目にかかったものだ。建物外周の軒天に付けたダウンライトに集まる虫を捕食して巨大化したもので、手足も黒々と太く、動きも敏捷で見るからに凶悪そうだ。翌日、職員や患者さんが怖がらないように(というのは口実で、不倶戴天の敵、というほど私はやつらが嫌いなのだ。同じ部屋の空気が吸えるものか)排除を決意する。幸い、手元に強力なBC兵器(神経ガス銃)がある。スプラッターは趣味ではないし、バキューム砲のような大型兵器の使用は美学に反する。やはり得物はこれに限る。確実に仕留めるコツは、可能な限り標的に接近し、最初の数秒間で致死量をお見舞いすることだ。敵は当然、猛然と逃げ出すが、標的に追従してロックオンし、ファイアーし続ける。やつは血球計算機やアナライザー、遠心機の裏に逃げ込み数秒間の静寂がおとずれる。だが、私は知っている。やつが、入った場所とは全く別の方角から出てくることを。何本かの足が蠢^{うごめ}き、やがてやつは待ち構えた武器の前に全身を晒し、波状攻撃を浴びる。ジ・エンド。全身をけいれんさせ、信じられないくらい手足を小さく折りたたんでくたばる。私は銃口にふうっと息を吐き、第1指と2指で足の一本をつまんで持ち上げ、その意外な重さに改めて驚く。家人は私を“アラクノハンター”あるいは敬意をこめて“パーフェクトハンター”と呼ぶが、仕留めた後の気分は決していいものではない。また

小さな命を奪ってしまった…。

私はなぜ家グモが嫌いなのか？乳離れが遅いのを心配して、お乳にクモの絵を張っていたからだ、生前に母が話してくれたことがあるが、もちろんその時の記憶はない。むしろ2～3歳の頃、寝ぼけまなこで柱に潜んでいた大グモをうかつにも触ってしまい、右腕から首筋、頭から背中と這い回られたことを今でも鮮明に覚えている。また、子供のころ、サッカーのあと父と風呂に入っていて、ふと上を見上げるとそこにクモがいた(サッカーのうえのクモ、寒～)。ちょっと目をそらして再び見るともういない。まるで上から見張られているようだ。「SPYだー」と言ったら、「水道」は“ヒネルトジャー”、「電気」は“ケシクラール”などと幼い頃からエセ英才教育を施してくれた父が(私は中学卒業までそれを信じて疑わなかった)「そう、SPIDERだ」と感心してくれたものだ。まるで時空の裂け目にでも入ったかのように忽然と消えてしまうやつらに薄気味悪さを感じたものだ。また、和式の便器にしゃがんで小便を始めた途端に、“金隠し”から巨大なクモが飛び出して目の前の壁に張り付いた時は、ほんとに縮みあがってしまい(玉上がった！)、ド近眼の顕微鏡の目でやつ^{むら}の複眼とにらめっこする羽目に。アップアップゥー。やつが先に囓^{むら}ったかどうか確かめようもないが、少なくとも私は用を足し終わるまで踏ん張った。

高校の夏休み、飢肥城そばの恩師の家に遊びに行った際(広くて古い一軒家で、夜は戸を開け

放っており、蛍光灯の周りにカナブンがうるさく飛びまわっていた)、ステレオセットの下から、見事に屈強な大グモがはい出してきた。私がカナブンを捕まえて投げつけたら見事に命中。さすがに不意打ちをくらってびっくりしたようだが逃げようとしな。再度投げつけたら今度は数センチ手前に着弾。一瞬の後、やつは猛然と襲いかかり、腹の下に抱えてセットの下に運び去った。やつらの毒牙は、我々のバイオスーツには無効であることは知っていたが、全身を頑丈なクチクラ製パワードスーツで覆われたフルメタルジャケット弾みたいカナブンに、どうやって牙を打ち込んだのか考えるだにぞっとする。私は、家グモが醜いから嫌いなのではない。地を這うように身構えたあの独特のクラウチングスタイル、獲物にとびかかる俊敏な動きは、見ようによってはとても格好良く、スポーツカーにもその名を冠するものがあるほどだ。ただ、私は生理的にやつらが嫌いなのだ。だから見つけたら徹底的に戦う。たとえ武器がなく数時間格闘する羽目になったとしても…私は“宇宙の戦士(Robert A. Heinlein)”

高校を卒業する頃には、こんなこともあった。風呂場の入口に巨大グモが現れ、風呂に入れないので何とかして欲しいと、姉からの催促。何でクモ嫌いの俺が…と思ったが、姉とはいえ女からの依頼を無下に断ることはできない(後で不幸が舞い降りることをもう既に知っていた)。ところが既にして不幸にも武器がない。仕方なく2本の木切れでうまく捕えて外に放り出そうとしたのだが、やつが暴れて窓下にあった洗濯槽の中にポチャン。そこは熱湯と洗剤で泡だっており、山のような姉のパンティーの上でやつが泡まみれでのたうちまわっている。「ハハ、じきにくたばるよ」笑ってごまかそうとしたが「何てことするの、馬鹿! パンティーの中でくたばったらどうするの! さっさと放り出しなさい!」鬼のような姉の声。私は決死の覚悟でパンティー

の中に手を突っ込み、まだ動いているザラつきグニャットになったやつをつかんで外に放り出した。トホホ。思い出しても身の毛がよだつ。今だから言えるが、この時の俺の心が判るのは、ジャック・パウアーくらいのものであったろう。

ところで話は変わるが、どうやら w 世にとっては長い触角を持つ生き物が天敵のようだ。まだ付き合い始めた頃、電話中に急に乙女のような金切り声で「きゃー、ゴキブリ、ゴキブリがー…」「What's up?」「飛んだー」ツーツーツー(おいおい、あんた目ん玉にメス突っ込む仕事でしょうが…)その後、めでたく結婚し、開業したある日のこと。患者さんから、それは見事な伊勢海老を頂戴した。発泡スチロールの箱の中で、数匹がキーキー鳴きながら、ガサゴソ動いて、はみ出した長い触角が揺れている。さっそく夕げに期待したが出ずじまい。(彼女も忙しい身の上、仕方ないか)ところが翌日夕方になってもエビちゃんの入った箱がベランダに無造作に置かれているではないか。「おいおい、せっかくの伊勢海老が台無しじゃないか! 死にかけてるぞ」私は怒った。すると「あんまり元気がよすぎたので弱らせてたの。あーあ、あとほんのちょっとのもう少しだったのに」「パンナコッタ!(なんてこった! 興奮して声にならない)」伊勢海老の刺身のイメージがメロメロと溶けはじめた。「そんなに言うんなら自分でやれば?」「私は仏教徒だから殺生はしない! ん? おまけに Physician だ」あんなにつぶらな瞳のエビちゃんに、メスは、もとい包丁は突っ込めない。その後も幸い伊勢海老を頂く機会に恵まれたが、今度は手際よく空箱になっている。「エビちゃんは?」「ただいま冬眠中」「???」嫌な予感。もしかして? フリーザーを覗くとすでに凍死体になった数匹のエビちゃんが…マンマ・ミーア!

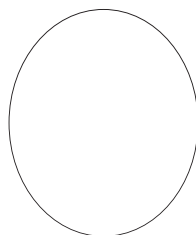
(似顔絵: 娘がテルマエ・ロマエ様に描いたイラストです。実物の方が男前ですが。)

## エコー・リレー

(44回)

(南から北へ北から南へ)

## 夏の日

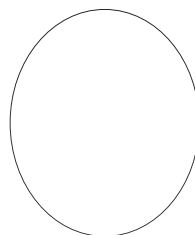
三股町 みしま内科クリニック ^み三 ^{しま}嶋 ^{かず}和 ^や也

日曜日の朝、裏のお宅の庭にある立派な木で、たくさんの蝉たちの大合唱が始まると、息子が「蝉取りに行こう」と早起きを催促してきます。自宅の勝手口から数mにある安上がりなレジャーですが、4歳

の息子にとっては一大イベントのようです。たくさんの蝉がうるさいくらい鳴いている大きな木の近くまで、虫取り網と虫かごを持って颯爽と歩いていきますが、いざ木の下に行くと蝉の迫力に負けて身動きできません。そのうち、「パパ、とって」と網をばいっと投げてきます。そんなひ弱な男の子ではいかんと、息子を担ぎ上げて蝉に近づけると、怖いと暴れて降りてしまいます。しょうがないので私が取ろうとするのですが、少し離れた場所で「本当にとれるの?」と疑いの目で見ています。蝉取りなど数十年ぶりですが大して難しくもないのでひょいと取ってあげると、「うっわー、パパ、すっげー」と、仮面ライダーフォーゼが敵のゾディアーツを倒した時よりもキラキラした眼で見てくれます。いったん虫かごに収めますが、蝉の寿命は短いことを説明して逃がしてあげると、急いで飛んでいく蝉に向かって「ばいばーい、元気でね」と無邪気にはしゃいでいます。これでおつとめ終了と思いきや、「あー楽しかった。じゃあ次はプラレール遊びね」とお約束の「次はなにをする攻撃」が始まります。こうやって私の休日是一日中息子とじゃれあって、小さな幸せを感じながら過ぎていきます。

[次回は、西都市の濱砂 亮一先生をお願いします]

## 10年

宮崎市 社会保険宮崎江南病院 ^{だい}大 ^{あん}安 ^{たけ}剛 ^{ひろ}裕

この原稿依頼が来てから、ふと思い返してみた。

宮崎に来たのは2回目ではあるが、今回早くも10年近く経とうとしている。合計すると13年、もはやりっぱに宮崎弁も使いこなす宮崎県人である。

私は長崎県の東彼杵という田舎に生まれた。今でこそ仲里依紗という女優さんが同郷のようで、たまに知っている人もいようではあるが、それすら思い込みかもしれない…ほどの田舎である。そこで18年暮らし、大学で大分に6年、卒業してから長崎には計7年住んだ。土地にはそれぞれ風土、食べ物、文化があり、そこから生まれる県民性というものが存在する。長崎の人間は、物言いは乱暴だが根は優しい。訪れる人に寛容であり、時には必要以上にもてなそうとする。大分の人間は地元愛が強くプライドが高い。悪く言えば排他的だが上昇志向が強く志の高い人が多いように感じる。宮崎の人間は…てげてげ。よくも悪くも「てげてげ」なのである。誠に勝手な言い分であり、あくまでも個人的な印象ですので、気分を害されれば平謝りいたします。

ただ、このてげてげが非常に居心地がいい。広々とした海、さんさんと降り注ぐ太陽の光、温暖な気候がゆったりとした空気を生み、おおらかな人間を育てるのであろう。仕事の上でもこの県民性に随分助けられている。

「がむしゃら」な人があまりいない(と感じる)この地で、自分の中ではがむしゃらに仕事をしてきた、と思うこの10年。ふと気がつくと、原稿の締め切りがギリギリなのに不思議とあせりもなくビール片手にやれオリンピックだ、サッカーだと浮かれて観戦してたりする…これも「てげてげ」。宮崎人になれた気がする自分がなんとなく誇らしい。

[次回は、西都市の大塚 康二郎先生をお願いします]



## あなたできますか？

— 平成 23 年度 医師国家試験問題より —

(解答は 63 ページ)

1. 心不全に特徴的な心臓の聴診所見はどれか。
  - a III 音
  - b 駆出音
  - c 大砲音
  - d クリック音
  - e 心膜ノック音
2. 特発性血小板減少性紫斑病(ITP)の先行感染として最も多いのはどれか。
  - a 伝染性紅斑
  - b 突発性発疹
  - c 風疹
  - d 流行性耳下腺炎
  - e 溶連菌感染症
3. 肝胆膵疾患とその原因の組合せで正しいのはどれか。
  - a 胆道癌 ———— 先天性胆道拡張症
  - b 膵管癌 ———— 原発性硬化性胆管炎
  - c Gilbert 症候群 ———— 胆嚢炎
  - d Mirizzi 症候群 ———— 十二指腸傍乳頭部憩室
  - e Lemmel 症候群 ———— 胆嚢結石
4. ステロイド抵抗性の重症潰瘍性大腸炎への対応で適切なのはどれか。
  - a アメーバ赤痢の治療を追加する。
  - b 注腸二重造影で全大腸を観察する。
  - c モルヒネの投与で腸管の安静を図る。
  - d サイトメガロウイルスの検索を行う。
  - e 非ステロイド性抗炎症薬(NSAID)を投与する。
5. 胃食道逆流症(GERD)の増悪因子でないのはどれか。
  - a 臥位
  - b 硝酸薬
  - c 高脂肪食
  - d 体重の減量
  - e カルシウム拮抗薬
6. 甲状腺眼症でみられるのはどれか。2 つ選べ。
  - a 眼球突出
  - b 眼瞼下垂
  - c 瞼裂開大
  - d 眼瞼けいれん
  - e 眼瞼部拍動性雑音
7. 65 歳の男性。頸部腫瘍を主訴に来院した。6 か月前から頸部に腫瘍を自覚しており、徐々に増大してきたため受診した。眼瞼結膜に貧血を認めない。左頸部に径 2 cm のリンパ節を 3 個、右腋窩に径 2 cm のリンパ節を 1 個触知する。いずれも弾性硬で圧痛はない。心音と呼吸音とに異常を認めない。腹部は平坦、軟で、肝・脾を触知しない。血液所見：赤血球 398 万、Hb 11.0 g/dl、Ht 38%、白血球 6,300 血小板 23 万。血液生化学所見：総蛋白 7.5 g/dl、アルブミン 4.8 g/dl、尿素窒素 19 mg/dl、クレアチニン 0.9 mg/dl、総ビリルビン 0.8 mg/dl、AST 3 IU/l、ALT 28 IU/l、LD 447 IU/l (基準 176~353)。胸腹部造影 CT で縦隔リンパ節、腹腔内リンパ節および脾臓の腫大を認める。

次に行う検査として最も適切なのはどれか。

  - a 腹部超音波検査
  - b ポジトロンエミッション断層撮影(PET)
  - c 上部消化管内視鏡検査
  - d 骨髓生検
  - e 頸部リンパ節生検
8. 反回神経麻痺をきたしにくいのはどれか。
  - a 胃癌
  - b 肺癌
  - c 食道癌
  - d 下咽頭癌
  - e 甲状腺癌
9. 高カルシウム血症がみられないのはどれか。
  - a 副甲状腺機能低下症
  - b 成人 T 細胞白血病
  - c サルコイドーシス
  - d ビタミン D 中毒
  - e 多発性骨髄腫
10. 心臓の弁について正しいのはどれか。
  - a 僧帽弁は三尖で構成される。
  - b 大動脈弁には腱索が付着する。
  - c 肺動脈弁輪周囲を刺激伝導系が走行する。
  - d 三尖弁と肺動脈弁には線維性連続がある。
  - e 僧帽弁輪周囲を左冠動脈回旋枝が走行する。



## 宮崎県感染症発生動向 ～7月～

平成24年7月2日～平成24年7月29日(第27週～30週)

## ■全数報告の感染症

1類：報告なし。

2類：結核29例が報告された。保健所別報告数を【図1】に示した。患者が13例、疑似症患者が6例、無症状病原体保有者が6例で、患者は肺結核が9例、その他の結核(結核性胸膜炎)と肺結核の併発が1例、その他の結核(結核性胸膜炎)が3例であった【表1】。男性17例、女性8例で、年齢別報告数を【表2】に示した。

3類：腸管出血性大腸菌感染症5例が宮崎市(3例)、都城(2例)保健所から報告された。

- ・1歳の女児で水様性下痢、発熱がみられた。原因菌のO血清型はO26(ⅤT産生)。
- ・1歳の男児で水様性下痢がみられた。原因菌のO血清型はO26(ⅤT産生)。
- ・4歳の男児で水様性下痢がみられた。原因菌のO血清型はO26(ⅤT産生)。
- ・20歳代の女性で無症状病原体保有者。原因菌のO血清型はO157(ⅤT産生)。
- ・50歳代の男性で無症状病原体保有者。原因菌のO血清型はO157(ⅤT産生)。

4類：○つつが虫病：日向保健所管内で1例報告された。20歳代の男性で、頭痛、発熱、発しん、肝障害がみられた。  
○日本紅斑熱：宮崎市保健所管内で1例報告された。60歳代の女性で、発熱、刺し口、発しん、肝機能異常がみられた。  
○レジオネラ症：宮崎市保健所管内で1例報告された。60歳代の男性で肺炎型。発熱、下痢、肺炎がみられた。

5類：報告なし。

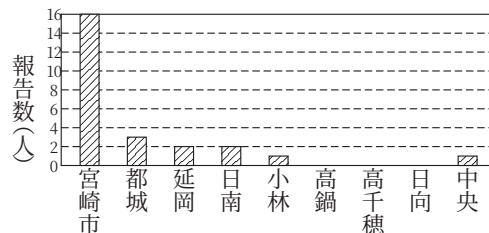


図1 保健所別報告数(結核)

表1 結核の病型及び報告数(人)

肺結核	9
肺結核及びその他の結核	1
その他の結核	3
疑似症患者	6
無症状病原体保有者	6

表2 結核の年齢別報告数(人)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	70歳代	80歳代	90歳代
2	2	2	2	7	9	1

## ■病原体検出情報(微生物部)

	検出病原体	件	臨床症状等
ウイルス	ライノウイルス	1	発熱、下痢
	インフルエンザA/H3型	1	インフルエンザA、40.0℃、下気道炎
	パラインフルエンザウイルス3型	1	ウイルス感染症疑い、39.2℃、ショック症状
細菌	毒素原性大腸菌(O157:HUT-ST)	1	
	腸管出血性大腸菌(O26:H11VT-D)	2	・発熱(38.0℃)、下痢 ・発熱(37.2℃)、下痢
	Salmonella Infantis(O7:r:1,5)	1	

## ■5類定点報告の感染症

定点からの患者報告総数は3,315人(定点あたり96.5で、前月比101%と横ばいであった。また、例年と比べると83%と少なかった。

前月に比べ増加した主な疾患は手足口病、RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、マイコプラズマ肺炎で、減少した主な疾患は、インフルエンザ、水痘、感染性胃腸炎であった。また、例年同時期と比べて報告数の多かった主な疾患はRSウイルス感染症、マイコプラズマ肺炎、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎であった。

手足口病の報告数は176人(4.9で前月の約5.5倍、例年の約2割であった。延岡(20.3)、日向(17.0)保健所からの報告が多く、年齢別では6か月から3歳が全体の約9割を占めた。

RS ウイルス感染症の報告数は 49 人(1.4 で前月の約 5 倍, 例年の約 4.5 倍と多かった。延岡(8.0 保健所からの報告が多く, 年齢別では 5 か月以下が 16%, 6～11 か月が 27%, 1 歳が 41%, 2 歳以上が 16%であった。

ヘルパンギーナの報告数は 1,256 人(34.9 で前月の約 1.8 倍, 例年の約 1.6 倍であった。延岡(85.5, 日南(54.3 保健所からの報告が多く, 年齢別では 1 歳から 3 歳が全体の約 7 割を占めた。

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は 340 人(9.4 で前月の約 7 割, 例年の約 1.5 倍であった。延岡(33.5 保健所からの報告が多く, 年齢別では 3 歳から 6 歳が全体の約 6 割を占めた。

マイコプラズマ肺炎の報告数は 15 人(2.1 で前月の約 2 倍, 例年の約 7.5 倍と多かった。1 歳～4 歳が 5 人, 5～9 歳が 1 人, 10～14 歳が 8 人, 15～19 歳が 1 人であった。

## ■月報告対象疾患の発生動向〈7 月〉

### □性感染症

【宮崎県】定点医療機関総数：13

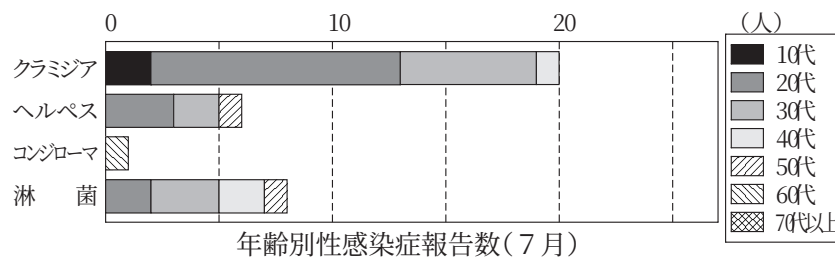
定点医療機関からの報告総数は 35 人(2.7 で, 前月比 85%と減少した。また, 昨年 7 月(3.9 の約 7 割であった。《疾患別》

○性器クラミジア感染症：報告数 20 人(1.5 で, 前月の約 9 割, 前年の約 6 割であった。都城(2.5, 宮崎市(2.3 保健所からの報告が多く, 20 歳代が全体の約 6 割, 30 歳代が約 3 割を占めた。

○性器ヘルペスウイルス感染症：報告数 6 人(0.46 で, 前月の約 7 割, 前年の約 1.2 倍であった。20 歳代が全体の約半数を占めた。

○尖圭コンジローマ：報告数 1 人(0.08 で, 前月の約 3 割, 前年の半数であった。60 歳代の報告であった。

○淋菌感染症：報告数 8 人(0.62 で, 前月の約 1.3 倍, 前年の約 7 割であった。30 歳代が全体の約 4 割を占めた。



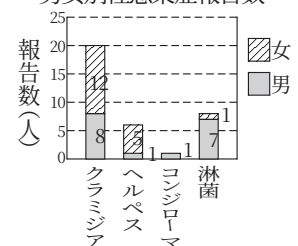
### 前月との比較

	7 月		6 月		例年との比較
	報告数 (人)	定点当 たり(人)	報告数 (人)	定点当 たり(人)	
インフルエンザ	22	0.4	124	2.1	★
RSウイルス感染症	49	1.4	10	0.3	★
咽頭結膜熱	76	2.1	119	3.3	
※溶レン菌咽頭炎	340	9.4	518	14.4	★
感染性胃腸炎	898	24.9	1,233	34.3	
水痘	111	3.1	192	5.3	
手足口病	176	4.9	32	0.9	
伝染性紅斑	5	0.1	7	0.2	
突発性発しん	208	5.8	212	5.9	★
百日咳	2	0.1	1	0.0	
ヘルパンギーナ	1,256	34.9	718	19.9	★
流行性耳下腺炎	136	3.8	104	2.9	
急性出血性結膜炎	0	0.0	0	0.0	
流行性角結膜炎	21	3.5	32	5.3	
細菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
無菌性髄膜炎	0	0.0	0	0.0	
マイコプラズマ肺炎	15	2.1	7	1.0	★
クラミジア肺炎	0	0.0	0	0.0	

★ 例年同時期(過去 3 年の平均)より報告数が多い

※ A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎

### 男女別性感染症報告数



### □薬剤耐性菌

【宮崎県】定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は 20 人(2.9 で前月比 80%と減少した。また, 昨年 7 月(6.6 の約 4 割であった。

《疾患別》

○メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数 17 人(2.4 で, 前月の約 9 割, 前年の約 4 割であった。70 歳以上が全体の約半数を占めた。

○ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数 2 人(0.29 で, 前月の約 7 割, 前年の約 4 割であった。70 歳以上の報告であった。

○薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数 1 人(0.14 で前月の半数, 前年と同数であった。70 歳以上の報告であった。

○薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

(宮崎県衛生環境研究所)

## 各郡市医師会だより

## 西 白 杵 郡 医 師 会

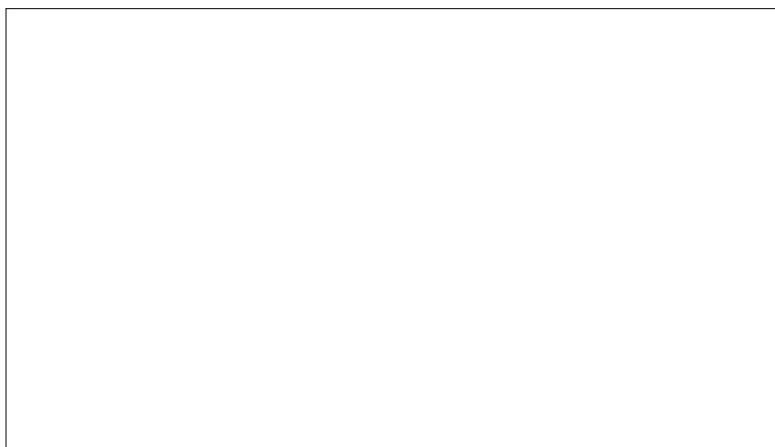
会 長 さ とう げん じ ろう  
佐 藤 元二郎

西白杵郡は県の北西部に位置し、高千穂町・日之影町・五ヶ瀬町の3町からなる自然豊かな地域で、名勝高千穂峡をはじめ夜神楽等の伝統文化・神話に彩られた町として知られるだけでなく、パワースポットとしても注目されています。

西白杵郡医師会は昭和23年2月設立以来、行政の協力のもと地域住民の健康を守るため、保健・医療・福祉に尽力してまいりました。現在A会員6名、B会員16名、計22名より構成される県内で最も小さい組織です。

4月1日より4期目の会長職に留任することになりました。役員も前期と変更ありません。3月で高千穂町国民健康保険病院を退職された柴田和哉院長の後任として、済生会熊本病院外科より箕田誠司氏が高千穂町国民健康保険病院長として就任され新理事として会員になりました。今期も植松副会長をはじめ理事の先生方のご協力を仰ぎながら、精一杯会の運営に努力したいと思います。当医師会の課題である一般社団法人移行の件は、現在事務手続き中であり、平成25年3月までの認可を予定しております。

当医師会は開業医の減少、後継者難、深刻な医師不足のなかで、西白杵郡の中核病院である高千穂町国民健康保険病院と連携を推進し、今後も行政および会員の先生方と協力し合って、地域医療の充実を図りたいと思います。今期もご協力ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



西白杵郡医師会新役員

## 役 員 名 簿（任期 平成 24 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

役職名	氏 名	診 療 科	所 属 医 療 機 関	担 当 業 務
会 長	佐藤元二郎	内科, 胃腸科, 小児科	佐藤医院	総括, 心臓検診
副会長	植松 昌俊	精神科, 神経科	国見ヶ丘病院	健康教育委員会, 倫理向上, 介護保険, 予備代議員
* 理 事	箕田 誠司	外科	高千穂町国民健康保険 病院	救急医療委員会
〃	白石 達史	内科, 小児科	田原診療所	会員福祉委員会, 産業医, 産業医部会
〃	田上 恒雄			
監 事	後藤 幸一	内科, 外科	後藤医院	地域医療保健委員会
〃	田崎 清廣	婦人科, 内科, 小児科	たさきクリニック	医療関係者対策委員会
議 長	古賀 志朗	内科, 胃腸科, 小児科	古賀医院	学校保健, 情報システム

*は新任

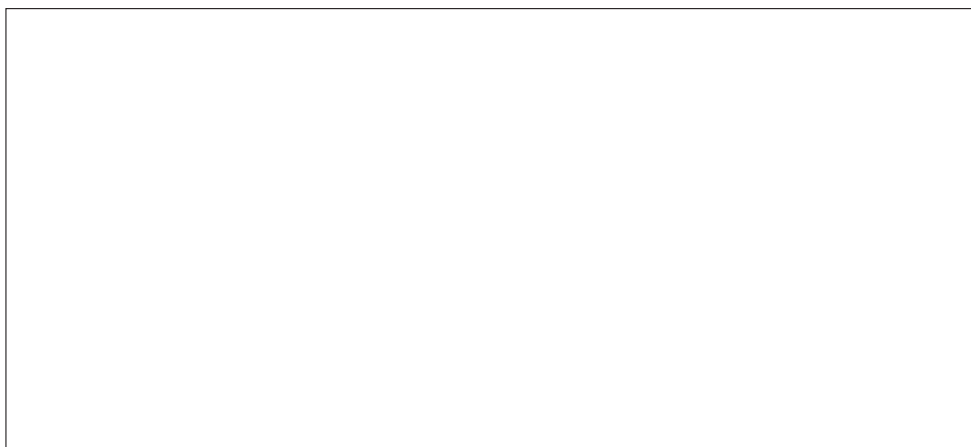
## 各郡市医師会だより

## 宮崎大学医学部医師会

会 長 いけのうえ つよむ  
池ノ上 克

平成 18 年に始まった医学部附属病院の再整備事業は、東日本大震災の影響による一部資材の調達遅れなどがあり、幾分遅れてはいますが、おかげでほぼ順調に進んでいます。平成 22 年 5 月に新外来棟が完成しましたが、平成 24 年 7 月には病棟部分が一部を除いてほぼ終了し、新たな病棟での診療や種々の業務が始まっています。また、平成 24 年 4 月から始まった救命救急センターと宮崎県ドクターヘリの運航も順調に活動を続けています。患者さんの搬送や受け入れなど、宮崎県医師会の先生方の絶大なご協力をいただきながら、多くの救急患者さんの診療に当たっています。これからも、さらに搬送前や治療後の診療連携を密に取らせていただきながら、更なる充実を図りたいと思っています。どうぞよろしくお願いします。

平成 24 年 7 月 1 日からの医学部医師会の役員体制は次ページの通りです。監事としてご尽力いただきました鬼塚敏男前教授が退官されましたので後任として帖佐悦男教授に新監事としてご就任いただきました。また、宮崎県医師会の理事としては引き続き直井信久教授と荒木早苗先生が参加され、県医師会活動に大いに貢献していただいています。



宮崎大学医学部医師会新役員



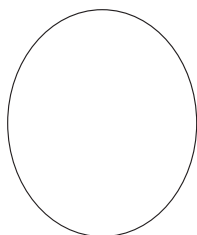
## 役 員 名 簿 (任期 平成 24 年 7 月 1 日～平成 26 年 6 月 30 日まで)

役 職 名	氏 名	臨 床 系 医 学 講 座 等
会 長	池ノ上 克	大学理事・病院長
副 会 長	千々岩一男	外科学講座腫瘍機能制御外科学分野教授
理 事	直井 信久	感覚運動医学講座眼科学分野教授
〃	荒木 早苗	医療情報部
〃	田村 正三	病態解析医学講座放射線医学分野教授
〃	布井 博幸	生殖発達医学講座小児科学分野教授
〃	東野 哲也	感覚運動医学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科学分野教授
* 監 事	帖佐 悦男	感覚運動医学講座整形外科学分野教授
〃	瀬戸山 充	感覚運動医学講座皮膚科学分野教授

*は新任

## 国公立病院だより

### 社会保険宮崎江南病院



いしかわ ただし  
石川 正 病院長

日州医事の紙面をお借りして、当院の近況をご報告いたします。

宮崎江南病院は、昭和 30 年に開院以来、地域に必要とされる病院を目指してまいりました。

特に、平成 18 年に地域医療支援病院の承認を受けてからは、地域の医療機関と連携して地域医療に貢献できるようそれまで以上に努力を続けていくところです。

地域医療に貢献するためには、病院に従事する職員の努力も必要ですが、患者さんの療養環境を改善することも大切です。

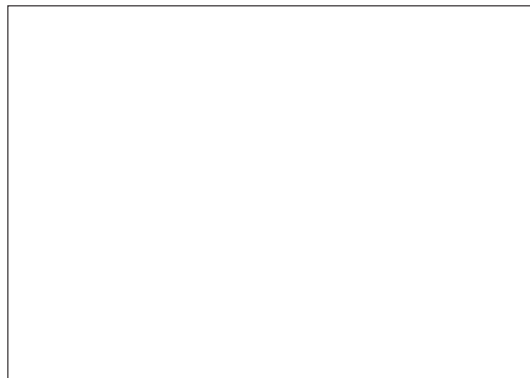
当院に対しては、これまで患者さんや患者さんを紹介していただいている近隣の開業医の先生から施設の改善の要望が寄せられてきました。

そこで、近年の耐震基準の見直しによる耐震補強の必要性もあり、平成 2 年春から病院建物の耐震補強及び増改築工事に取りかかり、約 3 年の期間をかけて本年 7 月に竣工の運びとなりました。

増改築の主な内容をご紹介します。

#### ○形成外科

当院の形成外科は、県内唯一の形成外科認定施設ということもあり、各医療機関から多くの紹介があります。今回の工事により、病棟と外来を 2 階(西)に設置したことから、同じ 2 階にある手術室との連携の強化が図れ、緊急手術もスムーズに対応できるようになりました。



また、小児の患者さんも多いことから外来にプレイルームを設けて緊張を和らげ待ち時間を退屈しないよう配慮しています。

#### ○透析室

新外来棟を新築し、その 2 階に設置しました。ベッド数は、それまでの 3 床から 52 床に増床し、将来的には 60 床になる予定です。フロアーは広々としており、各ベッドにはそれぞれテレビがあり、透析患者さんが快適に透析が受けられるような環境を整えました。

また、腎臓内科病棟を同じ 2 階(東)に設置したことにより、病棟との連携も図りやすくなっています。

#### ○外科

外科病棟(5 階)に、全て個室の緩和ケア病床を 6 床とデイルームを新設しました。この病床は、一般病棟内にあることから緩和ケアと通常治療の両面からのアプローチが可能です。利用者の皆様が満足できる療養生活を支援いたします。

#### ○整形外科・リハビリ科

3 階は整形外科病棟(3 階東)、回復期リハビリテーション病棟(3 階西)とリハビリテーション部になりました。入院から手術、リハビリテーション、在宅復帰まで 3 階フロアーで完結することが可能になりました。これにより、ベッド上からリハビリを開始し、手術

後は患者さんの状況に応じたりハビリを行い、自宅での自立した生活ができるよう支援いたします。

#### ○放射線科

増改築工事に合わせて最新の血管造影装置を導入し、これまで以上に精度の高い検査と治療が行えるようになりました。

#### ○その他

病室は、これまで 6 床室と 2 床室が中心であったものを 4 床室と個室を中心とした病室に改善したことにより、患者さんに快適な療養環境の中で過ごしていただくことが可能になりました。

また、健康管理センターも新築し、新たな環境の中でいろいろな健診メニューを創意工夫して地域の皆様の健康をサポートするべく努力しています。

皆様もご承知のことと存じますが、全国の社会保険病院は厚生年金病院、船員保険病院とともに平成 26 年 4 月から新たな独立行政法人「地域医療機能推進機構」に移行することが決まっています。これまで以上に公的な色彩が強い医療機関となりますが、その名称のとおり、地域医療の推進のため、その役割を果たすことが求められることとなります。

宮崎江南病院は、改善された療養環境の中、新しい組織の病院として地域の医療機関との連携をますます充実させることにより、利用される皆様のご期待にお応えすることを目標として病院運営に取り組んでまいりますので、これからもご支援のほどよろしく願いいたします。

(石川 正)

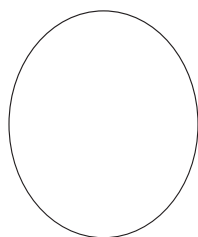
## お知らせ

### クールビズについて

県医師会では、地球温暖化防止に向け、平成 24 年 5 月 1 日より平成 24 年 10 月 31 日までの間、県医師会館の冷房設定温度を上げ、常識的な判断による夏の軽装(クールビズ)の実践に取り組めます。

会議等の場合でも軽装(ノーネクタイ・半袖等)で結構です。地球温暖化防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 宮崎大学医学部だより

内科学講座  
ー神経呼吸内分泌代謝学分野ーなかぎし まさひろ 教授  
中里 雅光 教授

当教室は神経、呼吸器、内分泌、糖尿病と老年医学を担当し、現在の教室の体制は、科長：中里雅光教授、副科長：塩見一剛准教授、医局長：山口秀樹講師、病棟医長：飯干宏俊助教、外来医長：柳重久助教、神経チーフ：塩見一剛准教授、呼吸器チーフ：松元信弘助教、内分泌チーフ：山口秀樹講師、糖尿病チーフ：上野浩晶助教です。2012年4月に福島県立医大から神経内科医である望月仁志講師が着任し、神経内科の新入医局員2名とともに活躍しています。

第3内科の診療面での第一の特色は、脳血管障害、気管支喘息、甲状腺疾患や糖尿病など日常臨床でよく遭遇する疾患と、神経難病や先端巨大症などの特殊な疾患をカバーし、内科医および専門医として生涯学習できる内科学講座であることです。第3内科病棟には、自分の専門分野以外の疾患を横目で見ながら学べる環境、4つの診療分野の医局員同士の仲が良かったため相談しやすく働きやすい環境があります。第二の特色として、救急での入院症例が多いことです。第三次医療機関として24時間態勢で対応し、脳炎、けいれん重積、糖尿病性ケトアシドーシス、人工呼吸管理を必要とする呼吸不全の重症患者を受け入れています。当科の救急入院患者数は年間160名前後で、入院患者全体の約3割を占めています。若手医員や研修医にとって急患の初期診療は大変ですが、退院まで症例を一貫して担当できること、救急医療と専門医療の連携を

同一現場、同一の指導医で体験できる点が他科にない長所です。

宮崎県での県央、県北、県西、県南の4つの地域の拠点病院に当科の複数の医師を派遣し、地元住民の生活圏で附属病院第3内科と同じ医療を提供できる体制をより充実したいと考えています。特に、肺癌の外来化学療法の充実は重要な課題です。住み慣れた地域でがん診療が完結できる医療態勢を目指し、呼吸器内科を志望する医師の確保と育成に努力しています。

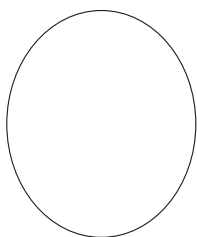
将来の医療を担う内科医、専門医の養成にも積極的に取り組んでいます。当教室は、専門医の取得に必要な教育施設(2012年現在で9つ)に認定されています。一般内科研修と同時に将来進みたい専門分野の研修も並行して行い、専門医に必要な知識、経験を日々の直接指導やカンファレンスを通して習得します。特に第3内科では学会発表は積極的に行い、その成果は学会賞や論文として形となり実績に繋がっています。

教室のもう一つの責務である基礎・臨床医学研究に関しては、探索基礎研究、観察研究や介入研究などの臨床研究が多数行われています。「GLP-1の臨床応用」による新規糖尿病治療薬の開発研究(JST)、慢性呼吸不全に対するグレリンの臨床応用(厚生労働科学研究)、JST戦略的国際科学技術協力推進事業日本－韓国研究交流研究などのプロジェクトを推し進めています。また、国際交流として3名の留学生が来日し、医学博士号取得を目指し研究しています。2011年10月から長年米国ボストンで基礎研究をされた田口明子博士を迎え、研究基盤のさらなる充実が得られています。多様な能力や経験を有する人材が教室に在籍し相互交流できることは教室の財産と考え、新たな人材確保に努力しています。

(医局長 ^{やまぐち} 山口 ^{ひでき} 秀樹)

## 部会だより

## 医 療 法 人 部 会

さめしま てつや  
鮫島 哲也 部会長

当県の医療法人部会は亡き原田正元医師会長の時代に基盤整備されたもので、相沢尚夫先生、竹内三郎先生と力量のある会長を戴いて一時は隆盛を極めたのですが、私が引き継いだ後は時代の変遷もありましてやや衰退気味です。それでも医療法人協会支部としては会員が多く会費納入率も上位でして誇るべき立場にありますが、経費節減を意図して病院部会と合同で総会、各種研修会その他を実施していることは既に御案内済みです。

今年度の役員改選に当たり日本医療法人の法人人格の改変が迫っておりますためもあって、本県では合同理事会、総会を経て全員留任を決めました。従って私ももう一期部会長を務めるハメとなっております。

さて、当部会は中央の流れに応じて活動をする使命を担っておりまして、それには政治活動を強化しなければならぬのですが、政局が混沌として展望が見えぬため、日本医師会、医療法人協会共に只今は困惑の様子。一時期希望を託した民主党もその任に耐え得ぬ実態を露呈しました。

それは兎も角、日本医療法人協会は次回の選挙でも引き続き高野氏を推薦することになりそうです。いずれの政党の候補になるのかは知れませんが私共は更に結束して推薦候補を国会に送り込み医療行政に影響力を示さねば明日がない様に思われます。

さて、昨年 10 月に宮崎観光ホテルで行われま

した医療法人経営セミナーは、東日本大震災と新燃岳の噴火、更に 2 つの台風襲来の影響が懸念されたにも拘わらず、全国から 250 名余の参加者を得て盛会裏に終えることができました。プログラムその他に参画下さった各位には紙面をかりて厚くお礼を申し上げます。

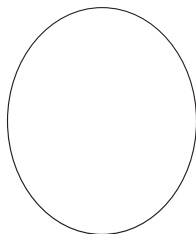
国政に目を転じますと、民主党は“税と社会保障の一体改革”を打ち出して国会での成立を目指しており現状では通過の見通しが大ですが、消費税に関しては医療団体として安易に賛成できぬ立場ですから、今後の細部の詰めを注意深く見守り異議があれば声を上げるべきだと考えております。

このところ、厚労省では“急性期医療に関する作業グループ”なるものを編成して既に 4 回の会議を開いておりますが、それ以前に「人員配置の手厚い医療機関とそうでない医療機関」についての対処法を論議した時期もありまして、私としては「不足な人員を養成して補充するのか？」と思ったのですが、どうやらそうではないらしい。今回の作業グループも私の見るところ人員構成に偏りがあり急性期医療を大病院に集約しようとの意図が隠されているのではないかと疑われる節がありましたが、幸い日本医療法人協会でもこの作業を注意深く見守る姿勢を示しました。

冒頭にも述べました様に、当部会は発足時には殆どの医療法人が加入しておりましたが診療所の法人化が進んで構成率が低下しました。「行政に物申す」には結束力が不足します。有志の法人の加入を歓迎する所以です。（鮫島 哲也）



## メディアの目



## 日向かぼちゃといもがらぼくと

宮崎日日新聞社報道部長兼論説委員

もり  
森こういちろう  
耕一郎

自虐的な県民ソングといえば、ピン芸人はなわの「佐賀県」のほかに、最近では観光資源が多いわりには知名度が低いと嘆く広島県の「おいしい！広島県」が話題になった。

宮崎でも、若手県職員が作詞した「ゆるゆるみやざき」や、古くは民謡「いもがらぼくと」も、その範疇に入るだろう。だが、佐賀や広島之歌とじっくり聞き比べると、宮崎の県民ソングは毛色がやや違うことに気づく。自虐の対象が違うのだ。

有名な牛丼チェーン店がないとか、日本一のレモンの産地なのに知られていないとか、そういう文脈ではない。県民性そのものをネタにしているのである。

温和で素朴だが、積極性に欠け野心とは無縁のお人よし。「のさん」「よだきい」「てげてげ」など脱力感にあふれる方言や「日向時間」「日向ぼけ」に象徴されるような気質や生活習慣が、どうしても自虐の対象になってしまうのだろう。

元祖県民ソングの「いもがらぼくと」もタイトルそのものからして思わず力が抜け落ちる。「いもがらぼくと」とは、里芋の茎である芋がらと木刀の二語を組み合わせた東諸県郡の方言。見かけは立派だが、中身はすかすかな男性を表している。

この「いもがらぼくと」、もともとは1954(昭和29)年に宮崎市制30周年を記念した民謡が公募

され、1席を獲得した元県立博物館長・黒木淳吉さん(故人)の「のさん節」を土台にしたものだった。その翌年にレコード化されることになったが、「のさん」では、いくらなんでも消極的すぎるから歌詞を変えようということになったのだった。

黒木さんのほかに作家の中村地平、黒木清次さん(いずれも故人)が加わり練り直してできあがったのが「いもがらぼくと」。それに対比させる女性像として、色が黒くてごつごつしているが中身が詰まっている「日向かぼちゃ」を登場させた民謡は宮崎の新しい男女のイメージを提示した名作だった。

それから約60年。この間、積極性に欠ける県民性を改めようと県が「新ひむか県民運動」を試みたが、結果は「うーん」といわざるを得ない。今年、若手県職員によって完成したばかりの「ゆるゆるみやざき」が歌詞で「人に優しく自分に甘い」と喝破したように、ほとんど変わっていないとみた方がいいようだ。

まあ、たかだか60年くらいで県民気質が劇的に変わるはずもない。そういえば、県民が高揚感に包まれるほどイメージは立派だったが、去ってみると実際に何を残したのか中身に「???」が付く知事さんが最近までいらっしまったような…。

## 県医師会在宅医療協議会と 各郡市医師会介護保険担当理事との合同協議会

と き 平成 24 年 7 月 20 日(金)

ところ 県医師会館

県医師会在宅医療協議会は今年 5 月 12 日に会員約 130 名をもって設立された。今回初めての役員会を開催する予定であったが、地域ごとの在宅医療ネットワーク構築を進めていくため、急きょ、各郡市医師会介護保険担当理事にもご出席を願い、合同協議会としたことが石川理事より説明され、相澤会長の挨拶の後、協議に移った。

協 議

### 1. メーリングリストについて

外山理事より、入会申込にメールアドレスが書かれていた会員約 90 名でメーリングリストの試験運用を開始したことが報告され、メーリングリストの運用規約について検討をした。メーリングリストに登録できるのは、当面協議会の会員のみとすること等が決定し、正式運用を開始することとなった。メーリングリストを活性化させるためにも役員には投稿を活発にしていきたいことなどがお願いされた。

### 2. 地域ごとの在宅医療ネットワーク構築について

石川理事より次のとおり説明とお願いがあった。

地域ごとの在宅医療ネットワーク構築に対して県から補助金が入り下りるため、地域ごとに多職種が集う定期的な研修会・交流会の開催と、地域ごとに在宅医療に関する資源マップ作成の 2 つの事業を進めていきたい。

各地域に訪問看護ステーションやケアマネジャー等の地域の組織があるので、そのようなところと連携して、中心的な人物を見つけて、8 月中には地域で集まって具体的な動きを始めていただきたい。資源マップに関しては、宮崎市郡医師会が作成している「在宅医療実施施設名簿」を参考にしていきたい。

12 月以降に全体研修会を開催するので、その中でどこまで進んでいるか簡単な報告をしていただきたい。

### 3. 県医療計画について

石川理事より、県が新たな医療計画を策定中であるが、在宅医療の分野はこの協議会で県に対する意見を取りまとめていきたいと説明があり、メーリングリストを活用して意見を取りまとめていくこととなった。

出席者

在宅医療協議会―

相澤会長、牛谷副会長、外山・馬見塚・榎本・高橋・永田・山元・園田・石川理事、黒岩・日高・青柳・金丸・栗田・窪田世話人

各郡市医師会―

牛谷(重複)・宮本・三股・北村・川越・池井・植松介護保険担当理事

## 医師国保組合だより

平成24年度宮崎県医師国民健康保険組合  
第10回通常組合会

と き 平成24年7月13日(金)

ところ 県医師会館

去る7月13日に第10回通常組合会を開催し、平成23年度事業報告、歳入歳出決算、歳入歳出差し引き剰余金の処分と、職員退職給与準備積立金の処分について、平成24年度歳入歳出補正予算について審議を行い、原案通り可決承認されたのでその概要を報告する。

物故者に対し弔慰黙祷を捧げ、秦理事長の挨拶に続き議事に入った。

## 1. 平成23年度事業報告について

組合会に関する事項について、第105回、第106回の通常組合会を開催し、議案を上程し、いずれも原案通り可決承認を得た旨を報告。

理事会に関する事項については、延べ4回開催し、会議等の報告、主要議題について協議した旨を報告。

会務報告の連絡協議等に関する事項については、官庁(国保・援護課)関係、全国・九州ブロックの各種関連団体の諸会議については役員並びに職員で対応した旨を報告。

被保険者数に関する事項について、月平均被保険者数を前年度と比較してみると、組合員については同数、家族については25名の減となっている。従業員2名の加入があり、平成16年来の加入である。

保険給付に関しては、療養諸費の保険者負担分を比較した場合、平成23年度は1億8,200万円で平成22年度より約2,54万円的大幅減となっているが、平成22年度が1億8,604万円、

平成20年度も1億8,900万円で平成23年度とそう変わりはないため、元に戻ったような状態である。

出産育児一時金はゼロ、葬祭費は118万円の増、傷病手当金については155万円の減となっている。

高額療養費については、平成22年度比、約445万円の減となっている。療養費については、保険者負担が36万円増となっている。

保健事業の中の健康診断については、受診率42.01%で、毎年少しではあるが伸びてきている。特定健診率についても、4.03%増と若干ではあるが伸びてきている。

季節性インフルエンザ接種補助、肺炎球菌ワクチン接種補助については減少、歯科健診についても、低調であった。

本年度は、新規保健事業として、脳ドック補助事業及び健康診断における胃・大腸内視鏡等の補助を行う予定にしている。

以上、平成23年度事業報告について報告し承認を得た。

## 2. 平成23年度歳入歳出決算について

歳入に関しては、保険料と補助金が主なもので、歳入に占める割合は、保険料が46.9%、補助金が16.3%、繰越金が35.3%というような割合となっている。

保険料については3億1,055万円の収入、療養給付費等補助金については1億476万円で、

前年度比 1,29 万円の減、特別対策費補助金の高額医療費共同事業補助金で 70 万 3,000 円の補助となっている。

一方、歳出に関しては 4 億 2,103 万円の支出があり、歳出に占める割合は、保険給付費が 48.4%、後期高齢者支援金が 18.2%、前期高齢者納付金 4.6%、介護納付金が 9.7%、合計で歳出の約 81% を占めている。

その他に、組合会費・総務費関係で約 10.4%、保健事業費 4.2% となっている。

保険給付費については、支出額が 2 億 38 万 3,171 円、対前年比 13% の減、後期高齢者支援金が約 3% の増、前期高齢者納付金は 7% の伸びとなっている。

歳入合計 6 億 6,109 万 5,615 円、歳出合計 4 億 2,103 万 8,522 円で、歳入歳出差引残額は 2 億 4,005 万 7,093 円となり、単年度では、66 万 4,532 円の黒字決算となっている旨を説明し承認を得た。

### 3. 平成 23 年度歳入歳出差し引き剰余金の処分について

国民健康保険法施行令で定められている、「特別準備積立金」並びに「給付費支払準備積立金」については、法定額を大幅に超えており、今期の積立は必要なく、歳入歳出差引残額 2 億 4,005 万 7,093 円全額を、平成 24 年度会計へ繰越とすることで承認を得た。

### 4. 職員退職給与準備積立金の処分について

職員退職者 1 名(平成 24 年 3 月末付)に対して、退職給与金の支給規程に基づき、積立金の一部を処分し、一般会計へ繰り入れし、その財源に充てることについて承認を得た。

### 5. 平成 24 年度歳入歳出補正予算について

議案第 4 号の積立金の処分に関連し、平成 24 年度歳入歳出予算について案のとおり補正することについて承認を得た。

#### ◎出席組合会議員

1. 市来 能成	13 出水 善文
2. 猪島 康公	14 野邊 俊文
3. 内田 攻	15 山田 孝俊
5. 田崎 高伸	16 大岐 照彦
6. 谷口 二郎	17 富田精一郎
8. 原田 雄一	18 井手 稔
9. 弘野 修一	19 江崎 豊
10 福永 隆幸	22 水野 智秀
11 藤木 浩	25 松田 虎洋
12 武田 信豊	26 花田 武浩

27 立山 洋司  
議員定数 30 名  
出席議員 21 名

#### ◎出席理事 8 名

理 事 長	秦 喜八郎
副理事長	大坪 睦郎
〃	河野 雅行
常務理事	高橋 政見
理 事	佐藤 雄一
〃	濱田 政雄
〃	石川 智信
〃	矢野 裕士

#### ◎出席監事 2 名

監 事	棚田 敏文
〃	山路 健

## 日医インターネットニュースから

### ■時間外対応加算，3割が届け出

#### — 日医が調査 —

時間外対応加算は加算1，加算2，加算3を合わせて診療所の30.9%が届け出ていた。内訳は無床診療所が26.2%，有床診は66.5%だった。今後届け出る予定としたのは診療所全体の3.0%にとどまった。届け出をしない理由は「標榜時間外の対応なし」が50.8%と最も多かった。鈴木常任理事は「輪番制でも算定できるようになった。地域医師会が主体となって連携の仕組みを構築していきたい」と述べた。

今後新たに在宅療養支援診療所(在支診)を届け出ようとする診療所は3.2%にとどまった。届け出をしない理由は，訪問看護や往診などの24時間体制を確保することが困難との回答が上位を占めた。連携の課題では「近隣に医療機関はあるが頼みにくい」「近隣の医療機関が在宅医療を行っているか不明」などが多かった。鈴木常任理事は地域での連携体制構築のほか，在支診以外の診療所に対する評価が課題とした。

自由記載で是正すべき点を聞いたところ，初・再診料についての意見が多かった。鈴木常任理事は「引き続き強く引き上げを要請する」と述べた。

調査は診療所3,803施設，病院346施設に調査票を発送し，回答を求めた。診療所の有効回答率は53.6%，病院の有効回答率は48.8%だった。

(平成24年8月3日)

### ■BCG接種年齢，引き上げを検討

#### — 結核部会が意見まとめ —

厚生労働省の厚生科学審議会・感染症分科会結核部会(部会長＝坂谷光則・国立病院機構近畿中央胸部疾患センター名誉院長)は8月1日，BCGの接種年齢について議論し，接種時期を現行の「生後6か月に至るまで」から「1歳に至るまで」に引き上げる方向で意見をまとめた。接種年齢

を「生後6か月に至るまで」に変更して以降，BCG接種後に骨炎・骨髄炎の副反応報告が増加していることや，乳幼児の予防接種スケジュールが過密になっていることなどを踏まえ，引き上げが必要と判断した。

この日の検討会では，予防の観点から早期にBCGを接種することの重要性を確認。一方で骨炎・骨髄炎の副反応報告数が増加していることや過密な予防接種スケジュールを緩和することなどを考慮し，BCGの接種時期を「1歳に至るまで」に引き上げる方向で意見をまとめた。

ただ早期の接種を促す目的から，接種を推奨する期間(標準的接種期間)については「生後5か月以上8か月未満」「生後3か月以上6か月未満」とする意見の両方が出たため，今後，厚科審・感染症分科会予防接種部会でも議論する。

(平成24年8月3日)

### ■7ワクチンの定期接種化，再度要請

#### — 小森常任理事 —

小森貴常任理事は8月8日の定例会見で，おたふくかぜ(ムンプス)と水痘に感染した患者の重症例・重篤合併症に関する調査結果を報告し，おたふくかぜと水痘を含む7つのワクチン(HPV，H1N1，小児用肺炎球菌，おたふくかぜ，水痘，成人用肺炎球菌，B型肝炎)全てを定期接種化することを強く求めた。

調査は日本医師会，日本小児科学会，日本小児科医会の3団体が，小児科や内科など全国の関連診療科1万9,92か所を対象に実施。おたふくかぜ，水痘ともに，それぞれ3,700か所前後の関連診療科から回答を得た。

回答率はおたふくかぜが18.9%，水痘が18.4%。調査対象期間は2009年から1年までの3年間で，24時間以上の入院症例を重症例とした。

調査結果によると，おたふくかぜで24時間以上入院した患者は4,808人，重篤後遺症例は78人(小児55人，成人23人)で，死亡は1人(基礎疾患



のない小児)だった。水痘で 24 時間以上入院した患者は 3,407 人、重篤後遺症例は 13 人(小児 5 人、成人 8 人)、死亡は 6 人(小児 1 人、成人 5 人)だった。

ワクチンの定期接種化をめぐるっては、民主党厚生労働部門会議「医療・介護ワーキングチーム」の予防接種法小委員会が H P V、H Ⅱb、小児用肺炎球菌の 3 ワクチンの定期接種化を優先する方向性を示している。

小森常任理事は「このような方向性のまま定期接種化が進めば、おたふくかぜや水痘で重篤な合併症や後遺症となる罹患者の発生予防に重大な支障を来すことになる」と指摘。今回の調査結果も踏まえ、あらためて 7 ワクチン全てを定期接種化することを求めた。(平成 24 年 8 月 10 日)

## ■埼玉県医が「医局」創設へ

### — 定年医師を指導医で派遣 —

埼玉県医師会と埼玉県は、定年退職した医師を指導医として県内の病院に派遣することを柱とする「埼玉県総合医局機能制度(仮称)」の創設に向け検討を進めている。将来的には、潜在看護師の復職支援などにも取り組み、医療人材全般をカバーする「医局」として法人化を目指す。埼玉県医の金井忠男会長は「今ある人的資源を最大限に活用したい。2013 年度から最低限の範囲で制度を動かしたい」としている。

厚生労働省の 2010 年医師・歯科医師・薬剤師調査の結果によると、埼玉県の人口 10 万人当た

りの医師数は 142.6 人で、全国平均の 219.0 人を大きく下回り、全国で最も低い数字となっている。1 年度の医師臨床研修マッチングの結果では 377 人の定員に対し、マッチ者数は 203 人。ほぼ同程度の定員だった 10 年度に比べてマッチ者数は 20 人減少した。

金井会長は「若い医師が希望して来る魅力的なプログラムが必要。専門医資格を取りやすくする環境も大事」と分析。地域医療再生計画の一環として制度を考案した。(平成 24 年 8 月 21 日)

## ■風しんの累積報告数が 1,000 例を突破 — 感染症週報第 3 週 —

風しんの今年の累積報告数が 1,000 例を超えた。国立感染症研究所の感染症週報第 3 週(7 月 30 日～8 月 5 日)によると、今年初めから 8 月 8 日までの風しん累積報告数は 1,016 例に達し、全数調査が始まった 2008 年以降、初めて 1,000 例を上回った。08 年以降、年間の累積報告数が最も多かった昨年(371 例)に比べて 2.7 倍に増えている。

累積報告数を都道府県別に見ると、最多は東京の 235 例で、大阪 199 例、兵庫 191 例、神奈川 80 例、埼玉 45 例、千葉 34 例と続いた。沖縄や愛知でも 30 例近くの報告があった。男女別に見ると、女性の報告数 24 例に対し、男性はその 3.2 倍に上る 77 例だった。男性の年齢別の内訳は、20 代が 24%、30 代が 38%、40 代が 19% となり、20～40 代の成人を中心に風しんが流行している。

(平成 24 年 8 月 21 日)

このコーナーの記事は“日医インターネットニュース”から抜粋して掲載していますので、詳細を知りたい方は日本医師会ホームページをご覧ください。毎週火・金更新していますので全ての記事が閲覧できます。

日医インターネットニュースへのアクセス方法

日本医師会(<http://www.med.or.jp>)にアクセス

日本医師会ホームページ右上のメンバーズルームをクリック

メンバーズルームに入る方法

ユーザー ID : 会員 ID 番号(日医からの送付物の宛名シール下部に印刷されている 10 桁の数字)を 0 も含め、全て半角で入力

パスワード : 先生の生年月日の 6 桁の数字を半角で入力  
例) 193 年 5 月 1 日生まれの場合、310501

## ご 案 内

## 第 112 回九州医師会総会・医学会

会 期 平成 24 年 11 月 24 日(土)・25 日(日)

会 場 シーガイアコンベンションセンター及び周辺施設

日 程 24 日(土) 九州医師会連合会総会・医学会

25 日(日) 分科会・記念行事

## 九州医師会総会・医学会

日 時 平成 24 年 11 月 24 日(土) 13:00～16:10

## 1. 九州医師会連合会総会 13:00～13:50

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1) 開会の辞        | 6) 祝電披露          |
| 2) 国歌斉唱        | 7) 宣言決議          |
| 3) 黙 祷         | 8) 次回開催担当県医師会長挨拶 |
| 4) 九州医師会連合会長挨拶 | 9) 閉会の辞          |
| 5) 来賓祝辞        |                  |

## 2. 九州医師会医学会 14:00～16:10

## 特別講演Ⅰ(14:00～15:00)

演 題 「未知のホルモン発見から医薬品の開発まで

－ LH -RH, ANP そして BNP ー

講 師 宮崎大学名誉教授

国立循環器病研究センター名誉所長 松尾 壽之 先生

座 長 宮崎大学医学部内科学講座

循環体液制御学分野教授 北村 和雄 先生

## 特別講演Ⅱ(15:10～16:10)

演 題 「初の国際人・伊東マンショの生きた時代

～没後 400 年の節目を記念して～

講 師 宮崎大学教育文化学部教授

竹井 成美 先生

座 長 宮崎県医師会長

稲倉 正孝

## 分 科 会

場所：シーガイアコンベンションセンター(宮崎市山崎町浜山 TEL 0985-21-1155)

学 会 名	会 場
第 1 分科会 内科学会 (第 29 回日本内科学会九州地方会) (第 46 回日本内科学会九州支部生涯教育講演会)	11 月 25 日(日) 9 : 00 ~ 17 : 00 4 F 天葉・天樹・クリスタル・マーブル・アンバー
第 2 分科会 小児科学会 (第 65 回九州小児科学会)	11 月 25 日(日) 9 : 00 ~ 4 F 天玉
第 3 分科会 外科学会	11 月 25 日(日) 9 : 00 ~ 12 : 00 2 F オーチャード
第 4 分科会 整形外科学会 (日本整形外科学会教育研修認定学会)	11 月 24 日(土) 16 : 30 ~ 19 : 15 2 F ファウンテン
第 5 分科会 産科婦人科学会	11 月 25 日(日) 10 : 00 ~ 14 : 10 2 F ファウンテン
第 6 分科会 東洋医学会 (第 38 回日本東洋医学会九州支部学術総会)	11 月 25 日(日) 9 : 00 ~ 16 : 15 4 F 天蘭・アイボリー
第 7 分科会 産業医学会	11 月 25 日(日) 9 : 30 ~ 15 : 00 4 F 天瑞

※分科会の参加申込は、各分科会の案内に従って行ってください。

## 記 念 行 事

場所：シーガイアコンベンションセンター及び周辺施設(宮崎市山崎町浜山)

大 会 名	会 場
ゴルフ大会 (第 52 回九州メディカルゴルフ大会)	11 月 25 日(日) 7 : 30 ~ フェニックスカントリークラブ(TEL 0985-21-1301)
サッカー大会 (第 34 回全九州ドクターズサッカー大会)	11 月 25 日(日) 9 : 00 ~ シーガイアスクエア 1 (TEL 0985-21-1111)
走ろう会大会	11 月 25 日(日) 10 : 00 ~ 11 : 00 フェニックス・シーガイア・リゾート(TEL 0985-21-1111)
囲碁大会 (第 32 回九州医師囲碁大会)	11 月 25 日(日) 10 : 00 ~ シーガイアコンベンションセンター(TEL 0985-21-1155)
テニス大会 (第 94 回全九州医師テニス宮崎大会)	11 月 4 日(日) 9 : 00 ~ 17 : 00 ※開催日にご注意ください シーガイアテニスアカデミー(TEL 0985-21-1311)

参加申込締切：9 月 28 日(金) ※ただし、ゴルフ大会は申込みを締め切りました。

## 薬事情報センターだより (304)

## 不活化ポリオワクチン(IPV)

ポリオは、エンテロウイルス属のポリオウイルスを病原体とする感染症で、我が国では、1960年にポリオ患者数が5,000人を超える大流行となりましたが、生ポリオワクチン(OPV)の導入により、流行はおさまりました。1964年からはOPVの2回投与による定期接種がはじめられました。1980年の1例を最後に、その後は野生株ポリオウイルスによる新たな患者は発生していません。しかし、海外では依然としてポリオが流行している地域があるため、世界的にワクチン接種が行われています。ワクチン接種により、ほとんどの人々が免疫をもてば、仮に、ポリオウイルスが日本国内に持ち込まれても、大きな流行にはなることはないと考えられます。

これまでポリオの定期接種ワクチンとして、ポリオウイルスの病原性を弱めてつくったOPVが使用されてきました。OPVでは、ポリオにかかったときとほぼ同様の仕組みで強い免疫ができますが、まれにワクチン株によるポリオ様の麻痺(ワクチン関連麻痺:VAPP)が生じることがあります。また、接種者の糞便中にワクチンウイルスが排泄され二次感染が発生する可能性があります。これらが問題とされていました。不活化ポリオワクチン(IPV)は、ポリオウイルスを不活化し、免疫をつくるのに必要な成分を取り出して病原性を無くしたもので、ウイルスとしての働きはないので、VAPPが生じる懸念がありません。平成24年4月2日にIPVが薬事承認されたことから、平成24年9月1日からポリオの定期接種ワクチンがOPVからIPVに一斉に切り替わることとなりました。9月1日以降は、OPVは定期接種の対象外となります。

9月1日から導入されるIPVの名称はイモバックスポリオ皮下注(サノフィパスツール株式会社)といいます。本剤は、Vero細胞を用いて生産され、不活化ポリオウイルス1型(Mahoney株)4D抗原単位、不活化ポリオウイルス2型(MEF-1株)8D抗原単位、不活化ポリオウイ

ルス3型(Saukett株)3D抗原単位が含まれています。1982年7月のフランス承認以降、2012年4月現在、86か国で使用されています。皮下注射であり、初回免疫については、生後3か月から初回接種を開始し、3週間以上の間隔をおいて3回接種します。なお、追加接種に関しては、現在国内臨床試験実施中であるため、4回接種(追加接種)後の有効性及び安全性が現時点では確立していないため、追加接種は定期接種に含まれていません。4回接種のデータが整い次第、追加接種として定期接種に導入される予定です。このように、OPVとは接種方法及び接種回数異なります。

国内臨床試験において、本剤接種後7日間の特定反応(注射部位及び全身)は、初回接種(3回)では74名中64名に見られました。初回接種(3回)後の特定注射部位反応の発現率は、疼痛8.1%、紅斑66.2%、腫脹37.8%でした。また、主な特定全身反応の発現率は、発熱(37.5℃以上)14.9%、傾眠状態29.7%、易刺激性32.4%でした。なお、重大な副反応として、ショック、アナフィラキシー様症状(頻度不明)、けいれん(1.4%)があらわれることがあります。

イモバックスポリオ皮下注は単独のIPVですが、平成24年7月2日に2製品(テトラビック皮下注シリンジ(阪大微生物病研究会)、クアトロバック皮下注シリンジ(化学及血清療法研究所))の4種混合ワクチン(ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ)(DPT-IPV)が薬事承認され、平成24年11月をめどに定期接種に導入予定とされています。

## 〈参考資料〉

不活化ポリオワクチン導入に係る関係自治体担当者会議(平成24年6月1日開催)資料(厚生労働省)

感染症情報センター(<http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.htm>)

(宮崎県薬剤師会薬事情報センター

永井 克史)

## お知らせ

## 県医師会在宅医療協議会入会のご案内

県医師会在宅医療協議会は、在宅医療に携わる医師の知識向上、情報交換、並びに在宅医療の普及を目的に本年 5 月に会員 130 名をもって設立されました。

年数回の研修会開催のほか、現在は地域ごとの在宅医療ネットワーク構築に向け、役員、世話人が奔走しています。また、在宅で困っていること、多職種連携の方法など会員同士の情報交換のためにメーリングリストを運用しています。

ご興味のある先生は、ぜひご入会いただき、いっしょに在宅医療を推進していきましょう。ご入会につきましては、県医師会地域医療課に入会申込書をご請求ください。

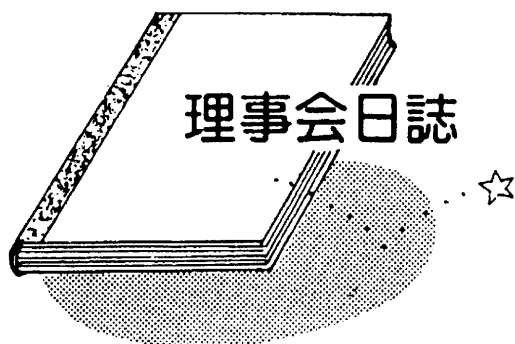
*協議会に入会済みでメーリングリストに加入されていない先生は、事務局までメールアドレスをお知らせください。

## 8 月のベストセラー

1	ソロモンの偽証	宮 部 み ゆ き	新 潮 社
2	脱原発論	小 林 よしのり	小 学 館
3	岳飛伝 二	北 方 謙 三	集 英 社
4	神様のカルテ 3	夏 川 草 介	小 学 館
5	虚像の道化師 ガリレオ 7	東 野 圭 吾	文 藝 春 秋
6	悩む力	姜 尚 中	集 英 社
7	聞く力 心をひらく 35 のヒント	阿 川 佐 和 子	文 藝 春 秋
8	日本人はなぜ中国人、韓国人と これほどまで違うのか	黄 文 雄	徳 間 書 店
9	置かれた場所で咲きなさい	渡 辺 和 子	幻 冬 舎
10	空飛ぶ広報室	有 川 浩	幻 冬 舎

宮協書店本店調べ 提供：宮崎店（宮崎市青葉町）☎（0985）23-7077





平成 24 年 7 月 3 日(火)第 10 回常任理事協議会

医師会関係

(議決事項)

1. 7 /2(木)(JA AZM)新規集団指導(医科)の実施について

6 医療機関を対象に行われる新規集団指導の終了後、本会主催で「指導・監査について」、「県医師会の活動について」を中心とする説明会を開催することが承認された。

2. 日本医師会の委員会委員の推薦について

日本医師会の 3 委員会の委員に、本会会員を委嘱することに対しての承認願いがあり、富田副会長(地域医療対策委員会)、佐藤常任理事(周産期・乳幼児保健検討委員会)、吉田常任理事(公衆衛生委員会)について、本会として承認することとなった。

(報告事項)

1. 週間報告について
2. 6 月末日現在の会員数について
3. 6 /3(土)(宮崎市郡医師会館)宮崎市郡医師会定時総会について
4. 6 /2(木)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
5. 7 /1(日)(日医)A 学術シンポジウムについて
6. 6 /28(木)(県庁)県救急搬送受入れ対策協議会について

7. 6 /28(木)(県医)九州電力との計画停電に関する協議会について

8. 7 /1(日)(大阪)レジナビフェアについて

9. 7 /3(火)(県庁)県医療計画策定委員会について

10. 6 /3(土)(県医)県医健康スポーツ医学セミナーについて

11. 7 /3(火)(県医)治験審査委員会について

医師連盟関係

(協議事項)

1. 平成 24 年度第 1 回「日医連医政活動研究会」開催について

昨年、本県選出の研究会メンバーであった吉田常任理事と清山知憲先生を、引き続き研究会メンバーにすること並びに 7 月 16 日の研究会に両名が出席することが承認された。

平成 24 年 7 月 10 日(火)第 3 回全理事協議会

(議決事項)

1. 8 /2(木)(ひまわり荘)社会保険医療担当者(医科)の個別指導の実施について

6 医療機関を対象に行われる個別指導で、立元常任理事を立会人として派遣することが承認された。

2. 九州地方社会保険医療協議会委員の候補者に係る意見について

九州厚生局に設置されている協議会で、九医連で決められているローテーションにより、今回は本県から委員を選出することとなるため、富田副会長を候補者として推薦することが承認された。

3. 本会外の役員等の推薦について

①県薬事審議会委員の推薦について

→薬事衛生思想の普及向上や医薬品等の取扱いの適正化を調査審議するため設置

されている審議会で引き続き河野副会長を推薦することが承認された。

②県障害者施策推進協議会委員の推薦について

→障害者に関する施策の調査審議及び実施状況を監視することを目的に設置される審議会で、引き続き稲倉会長を推薦することが承認された。

4. 後援・共催名義等使用許可について

① 9 / 1 (土)(宮観ホテル)乳がん市民フォーラム「学ぼう乳がん，受けよう検診」名義後援の依頼について

→一般市民に対する乳がんの疾患啓発及び検診促進を目的に開催される無料の市民フォーラムで、名義後援を行うことが承認された。

② 11/17(土)・18日(宮大)第 8 回清花祭清武キャンパス医学展名義後援ご許可のお願いについて

→宮大医学部学生による医学・医療に関する展示発表を行う医学展で、名義後援を行うことが承認された。

5. 九医連・九医学関連について

① 9 / 29(土)(宮観ホテル)九医連平成 24 年度第 1 回各種協議会の提案事項について

→既に九州各県に照会を行っている提案事項等について、医療保険は河野副会長，介護保険は石川常任理事，地域医療は古賀常任理事が中心となり，本県及び九州各県の提案事項等の取りまとめを行うことが承認された。

(報告事項)

1. 7 / 4(木)(県庁)県腎臓バンク評議員選定委員会について
2. 7 / 7(土)(宮観ホテル)九州地区医師会立共同利用施設連絡協議会懇親会について

3. 7 / 5(木)(県庁)県生活習慣病検診管理指導協議会生活習慣病登録・評価等部会について

4. 7 / 6(金)(県医)各専門分科医会長会について

5. 7 / 7(土)(東京)全医秘協常任委員会について

6. 7 / 9(月)(県医)医療計画プロジェクト委員会小委員会について

7. 7 / 5(木)(県医)医療計画プロジェクト委員会小委員会について

8. 7 / 5(木)(県衛生環境研究所)県衛生環境研究所調査研究評価委員会について

9. 7 / 4(水)(県医)地域リハビリテーション広域支援センター連絡会議について

10. 7 / 5(木)(JA A Z M 本館)社会保険医療担当者(医科)の個別指導について

11. 7 / 7(土)(県医)産業医研修会(実地)について

12. 6 / 3(土)(県医)勤務医部会理事会について

13. 6 / 3(土)(県医)勤務医部会総会・前期講演会について

医師国保組合関係

(報告事項)

1. 6 / 2(金)(県医)医師国保理事会について

医師連盟関係

(議決事項)

1. 7 / 22(日)日医連執行委員会開催について

日医連執行委員の稲倉委員長，河野常任執行委員が出席することが承認された。

2. 25 年度国・県に対する要望について

「医療に対する税制」，「医師不足対策」，「有床診療所の存続」，「予防接種体制の強化」，「医師会立看護師・准看護師養成校への財政支援」の 5 つの要望を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 7 / 7(土)(民主党県連事務所)民主党への予算要望ヒアリングについて

## 平成24年7月17日(火)第11回常任理事協議会

医師会関係  
(議決事項)

## 1. 後援・共催名義等使用許可について

- ① 9/15(土)(県立芸術劇場)日本褥瘡学会・在宅褥瘡医療ネットワーク委員会宮崎県セミナーの後援依頼について  
→在宅における褥瘡治療の向上及び予防の推進を目的に開催されるセミナーで名義後援を行うことが承認された。

## 2. 本会外の役員等の推薦について

- ① 傷病審査委員会の専門委員の推薦等について  
→精神疾患等により休職している県職員を円滑に復職させること並びに職場復帰について判断する制度を導入すること等を目的に設置される委員会であるが、県教育委員会の教職員疾病審査委員会との関係や運営方法について確認を行った後、改めて協議することとなった。

## 3. 7/24(火)(宮観ホテル)新研修医保険診療等説明会及び祝賀会について

進行や役割分担の最終確認が行われた。説明会では「医師協同組合賛助会員のご案内」を新たに追加、立元常任理事が説明を行うこと等が承認された。

## 4. 会費減免申請について

20年以上在籍かつ満年齢80歳に達しているとして、高齢による会費減免(県医)1件が承認された。

## (報告事項)

## 1. 週間報告について

## 2. 7/1(水)(県庁)麻しん予防接種推進会議について

## 3. 7/12(木)(県医)園医部会理事会について

## 4. 7/15(日)(東京)レジナビフェアについて

## 5. 7/1(水)(東京)在宅医療連携拠点事業説明会について

## 6. 7/14(土)(県医)県認知症高齢者グループホーム連絡協議会理事会・総会・研修会について

## 医師連盟関係

## (議決事項)

## 1. 7/3(火)(ホテルプラザ)自民党宮崎県支部連合会25年度国・県に対する要望ヒアリング及び懇談会について

本会が提出した5つの要望に対するヒアリングについて、稲倉委員長と立元常任執行委員が参加することが承認された。

## (報告事項)

## 1. 7/16(月)(日医)医政活動研究会について

## 平成24年7月24日(火)第4回全理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

## 1. 本会外の役員等の推薦について

## ① 傷病審査委員会の専門委員の推薦等について

→県教育委員会が設置している教職員疾病審査委員会の委員の先生方にご意向を確認した上で、専門分科医会に相談し推薦を行うことが承認された。

## ② 「宮崎県自殺対策推進協議会」の委員等の御推薦について

→関係団体が連携し総合的な自殺対策を推進することを目的として設置される会で、引き続き、協議会の委員に吉田常任理事、実務者会議の議員に石川常任理事と上田理事を推薦することが承認された。

## 2. 後援・共催名義等使用許可について

- ① 9/29(土)(MRTMicc)世界アルツハイマーデー記念市民公開講座の名義後援の依頼

について

→「もっと知ろうよ、認知症のこと」をテーマに開催される市民公開講座で、名義後援を行うことが承認された。

- ② 11/16(金)(宮崎市民プラザ)第 15 回宮崎県ふれあい文化のつどい開催の件について  
→地域と交流の場を設けることにより障害のある方への理解を深め、ノーマライゼーションを推進することを目的に開催されるイベントで、名義後援を行うことが承認された。

3. 平成 24 年度公衆衛生事業功労者表彰の推薦について

公衆衛生事業のために永年にわたり献身的かつ模範的な活動을續けてこられた方に贈られる表彰で 2 名の先生を推薦することが承認された。

4. 厚生功勞に係る平成 25 年春の叙勲及び褒章候補者の推薦について

郡市医師会から 1 名の申請があり、推薦することが承認された。

5. 7 / 3(火)各郡市医師会長協議会について

7 月 17 日に日医で開催された都道府県医師会長協議会の報告を含め 7 つの協議題等を中心に開催される会長協議会で、進行及び役割分担の最終確認が行われた。

6. 業務委託について

- ① 県主治医研修会の委託契約の締結について

→主治医意見書の記載が適切に行われるよう記載方法等について研修を実施し、適切な要介護認定等に資することを目的とする事業で、委託契約を締結することが承認された。

7. 九医連・九医学関連について

- ① 9 / 29(土)(宮観ホテル)九医連平成 24 年度第 1 回各種協議会について

→九州各県から提出された提案事項と今後のスケジュールの確認が行われ、本県からの提出事項も含め、担当役員を中心に検討を行うことが承認された。

(報告事項)

1. 7 / 1(水)(支払基金)支払基金幹事会について
2. 7 / 1(火)(日医)日医理事会について
3. 7 / 1(火)(日医)都道府県医師会長協議会について
4. 7 / 19(木)(西都)社会保険医療担当者(医科)の新規個別指導について
5. 7 / 19(木)(延岡)地域エコチル調査運営協議会について
6. 7 / 23(月)(県医)医療計画プロジェクト委員会小委員会について
7. 7 / 20(金)(県医)県医師会在宅医療協議会役員会と各郡市医師会介護保険担当理事との合同協議会について
8. 7 / 2(土)(県医)日医生涯教育協力講座セミナー「てんかんの診断から最新の治療まで」について

9. 7 / 13(金)(県医)広報委員会について

医師国保組合関係

(報告事項)

1. 7 / 13(金)(県医)医師国保通常組合会について  
医師連盟関係

(議決事項)

1. 8 / 3(金)「たけい俊輔と新しい日本・宮崎を創る集い」開催のご案内について

講師に佐藤正久参議院議員を招き開催される集いで、協力することが承認された。

(報告事項)

1. 7 / 2(日)(日医)日医連執行委員会について

平成 24 年 7 月 31 日(火)第 5 回全理事協議会

## 医師会関係

## (議決事項)

1. 8 / 9(木)(ひまわり荘)社会保険医療担当者(医科)の個別指導(再開)の実施について  
諸事情により中断した個別指導で、1 医療機関を対象に行われ、石川常任理事を立会人として派遣することが承認された。
2. 本会外の役員等の推薦について  
①幹事の推薦について  
→幹事会は、保険者、被保険者、診療担当者及び公益を代表する者で構成されており、本会から引き続き稲倉会長を推薦することが承認された。
3. 後援・共催名義等使用許可について  
① 10/21(日)(日本興亜火災宮崎ビル)市民公開講座「おしりやおなかの痛み・排便の悩みを解決する」後援依頼について  
→今回は名義後援を見送ることが承認された。
4. 8 / 23(木)(県医)県議会地域医療対策特別委員会調査について  
県議会地域医療対策特別委員会委員が来館して行われる調査で、調査に協力すること並びに有床診療所、地域医療の現状と課題、小児科医療、産科医療に関する問題を取り上げ、説明することが承認された。
5. 母体保護法指定医指定申請について  
独立行政法人国立病院機構都城病院を就業場所として、1 名の新規指定が承認された。

## 6. 8・9 月の行事予定について

8 月の追加行事と 9 月の行事について確認が行われた。

## (報告事項)

1. 7 / 25(木)(宮崎労働局)労災診療指導委員会について
2. 7 / 26(木)(JA A2M 本館)新規保険医療機関への説明会について
3. 7 / 27(金)(九州厚生局宮崎事務所)九州地方社会保険医療協議会宮崎部会について
4. 7 / 28(土)・29(日)(シーガイア)全国有床診療所連絡協議会について
5. 7 / 31(火)(ひまわり荘)地方公務員災害補償基金宮崎県支部審査会について
6. 7 / 2(木)(県医)母体保護法指定医申請者事前講習会について
7. 7 / 28(土)(富山)男女共同参画フォーラムについて
8. 7 / 2(木)(県医)広報委員会について

## 医師国保組合関係

## (報告事項)

1. 7 / 27(金)(県医)医師国保理事会について

## 医師協同組合・エムエムエスシー関係

## (報告事項)

1. 7 / 31(火)(県医)医協理事会について

## 医師連盟関係

## (報告事項)

1. 7 / 31(火)(ホテルプラザ)自民党県連国・県に対する要望ヒアリングについて



# 県 医 の 動 き

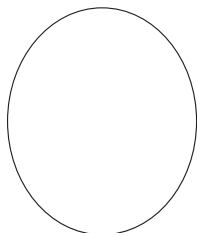
(8 月)

1	県と市と県産婦人科医会との妊婦健診公費負担に関する協議会(濱田常任理事) 個別指導に関する打合せ(会長他)	11	県プライマリ・ケア研究会世話人会(会長他) 県プライマリ・ケア研究会総会・講演会(会長他)
2	社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (立元常任理事) 病院部会・医療法人部会合同理事会 (池井常任理事) 広報委員会(会長他)	16	県産婦人科医会医療保険委員会(濱田常任理事)
3	日本スポーツ振興センター福岡支所業務運営委員会(福岡)(池井常任理事) 県外科医会夏期講演会	18	中四九地区医師会看護学校連絡協議会(鹿児島) (立元常任理事) 産業医研修会(前期)(池井常任理事) 学校医部会総会・医学会(会長他) 九州地区医師国保組合連合会全体協議会(大分)
4	九州学校検診協議会専門委員会(福岡) (佐藤常任理事) 九医連常任委員会(福岡)(会長) 九州学校検診協議会幹事会(福岡)(会長他) 九州各県学校保健担当理事者会(福岡)(会長他)	19	中四九地区医師会看護学校連絡協議会(鹿児島) (立元常任理事)
5	九州学校検診協議会(福岡)(会長他) 九医連学校医会評議員会・総会(福岡)(会長他) 日本プライマリ・ケア連合学会九州支部代表世話人会(福岡)(金丸理事) 九州ブロック学校保健・学校医大会(福岡) (会長他)	20	全体課長会(事務局) 県歯科保健推進協議会(荒木常任理事)
6	宮崎市郡医師会予防接種勉強会(TV 会議)	21	日医理事会(日医)(会長) 医協打合会(立元常任理事) 第 13 回常任理事協議会(河野副会長他)
7	県訪問看護ステーション連絡協議会役員会 (古賀常任理事) 治験審査委員会(富田副会長他) 第 12 回常任理事協議会(会長他)	22	産業医研修会 日医周産期・乳幼児保健委員会(日医) (佐藤常任理事) 県内科医会医療保険委員会
8	宮崎政経懇話会合同特別例会(会長) 市町村と県産婦人科医会との妊婦健診公費負担に関する協議会(濱田常任理事) 日医有床診療所に関する検討委員会(日医) (河野副会長) 支払基金幹事会(会長) 産業医研修会	23	県議会地域医療対策特別委員会調査(会長他) 県内科医会理事会 産業医研修会(TV 会議) 県産婦人科医会医療対策委員会(濱田常任理事)
9	産業医研修会 社会保険医療担当者(医科)の個別指導 (石川常任理事) 県がん対策推進協議会(会長他) 宮日「きゅんと」記事に対する打合せ (富田副会長他) 県警察医会協議会 県産婦人科医会全理事会(濱田常任理事) 医療計画プロジェクト委員会(会長他)	25	全国国保組合協会九州支部総会(鹿児島) (秦理事長他)
10	九医連事務局長連絡協議会(事務局)	27	県立病院事業評価委員会(会長) 広報委員会(荒木常任理事他)
		28	九州地方社会保険医療協議会宮崎部会 (河野副会長) 医協理事会(会長他) 第 6 回全理事協議会(会長他) 医協理事・運営委員合同協議会(会長他) 役職員懇談会(会長他)
		29	労災診療指導委員会(河野副会長) 医療計画プロジェクト委員会(会長他)
		30	県障害者施策推進協議会(会長) 社会保険医療担当者(医科)の個別指導(上田理事) 日医公衆衛生委員会(日医)(吉田常任理事) 県腎臓バンク理事会(会長) 県内科医会誌編集委員会 医師国保理事会(秦理事長他) 予防接種委員会(TV 会議)(会長他)
		31	県自殺対策推進協議会(事務局) 医師会立看護学校担当理事連絡協議会(会長他)

## ニューメンバー

宮崎市  
宮崎中央眼科病院

なか ざき しゅう じ  
中 崎 秀 二



**住 所** 宮崎市

**専門科目** 眼科

**家族構成** 妻，長女（10），  
次女（8），三女（2）

**略 歴**

昭和 58 年 県立高鍋高校卒業

平成元年 宮崎医科大学卒業，  
同大学眼科入局

平成 11 年 県立延岡病院眼科医長

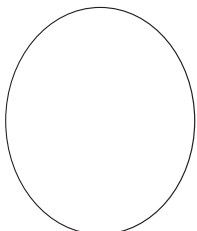
平成 16 年 県立宮崎病院眼科医長

**趣 味** 地図，音楽

**抱 負** 県立延岡病院，宮崎病院  
合わせて 13 年ほど県病院に勤務してお  
りましたが，このたび 7 月より宮崎中  
央眼科病院院長に就任いたしました。  
今までの経験を生かし少しでも地域眼  
科医療に貢献できればと考えておりま  
す。ご指導のほどよろしくお願いしま  
す。ただいま新病院建設中で患者様や  
地域住民の方々にはご迷惑をおかけし  
ております。年内には外来部門が，新  
年度には病棟を含めグランドオープン  
の予定です。

宮崎市  
杉田眼科医院

さい とう ま み  
齋 藤 真 美



**住 所** 宮崎市

**専門科目** 眼科

**家族構成** 両親，妹，小型犬 1 匹

**略 歴**

昭和 61 年 県立西高等学校卒業

平成 5 年 宮崎医科大学卒業，  
同大学眼科学教室入局

**趣 味** ゴルフ，水泳，華道

**抱 負** 平成 24 年 6 月で宮崎大学  
眼科学教室を退局し，同年 7 月 1 日付  
けで宮崎市橘通の杉田眼科医院院長に  
就任致しました。

就任前は 7 年間，日南市の県立日南  
病院眼科医長を務め県南地区の医療に  
微力ながら関与させていただいており

ました。

県立日南病院勤務中は院内当直や救  
急外来等で専門外の科の診療にも携わ  
ることも多く，他科の先生方や南那珂  
医師会の先生方には大変お世話になり  
勉強させていただきましたが，やはり  
眼科医の身で全身疾患を診たり CPA  
に対応するには苦労がありました。開  
業医となった今，最も変化したことと  
言えば，救急車のサイレンの音を聞い  
てもドキッとしないでよくなったこと  
でしょうか。今後は専門の眼科診療に  
専念し，医師会の先生方に教を請い  
ながら精進して参りますので何卒宜し  
くお願い申し上げます。

## 追 悼 の こ と ば

宮崎市郡医師会

重 城 壽 雄 先生

(昭和 2 年 11 月 24 日生 84 歳)

弔 辞

本日ここに、今は亡き重城壽雄先生の御霊前に、宮崎市郡医師会を代表して、謹んでお別れの言葉を申し上げます。

一昨日、先生の突然の御訃報に接し、にわかには信じられず、会員一同、深い悲しみに包まれております。

先生には、病氣御療養中のところ、8 月 1 日、午前 3 時 3 分、84 歳の御生涯を閉じられました。

今こうして、葬送の列に加わり、奥様をはじめ御親族の皆様方の御心中をお察し申し上げますとき、お悲しみは如何ばかりかと胸塞がる思いでございます。

先生は、昭和 2 年 11 月 24 日、宮崎市中村町においてお生まれになり、幼少にしてその才誉れ高く、長じて医学の道に志を立てられ、昭和 30 年 3 月、長崎大学医学部を優秀な御成績で御卒業になりました。昭和 31 年 4 月、長崎大学医学部第 2 外科・広島尾道市民病院外科において実地修練を積まれた後、昭和 34 年 4 月から長崎大学医学部第 2 解剖学教室にご入局され、昭和 36 年 8 月から長崎通信病院、昭和 38 年 1 月、八女市民生病院副院長を歴任され 12 年余に亘り、医療の充実、発展に多大な御貢献をいただきました。

先生は、その間、日々御診療の傍ら臨床の研鑽を積み、昭和 39 年 9 月、医学博士の学位を授与されました。

昭和 42 年、八女市民生病院を最後に御退職に

なり、同年 3 月、宮崎市橘通西 4 丁目に重城外科医院を御開業になり、平成 10 年に、ご閉院された後、野尻町の押川病院でご勤務なされました。その、45 年有余の永きに亘り、ひたすら地域医療の第一線にあって、地域住民の医療、保健の向上のために御尽力下さいました。その優しく真面目なお人柄により地域の皆様の尊敬と信頼を一身に集めておられました。

また先生は、ご多忙な御診療の傍ら、医師会活動にもご尽力をいただき、宮崎市郡医師会理事 4 年、宮崎県医師会互助会監事 13 年、宮崎看護専門学校講師 1 年、また宮崎西中学校の学校医として 31 年の長きに亘り、児童の健康管理や衛生活動に多大な御貢献をいただき、その御功績により、昭和 63 年 2 月、宮崎市教育長表彰、平成 7 年 10 月、宮崎県教育長表彰をお受けになられました。

一方、先生はお忙しい御診療の合間には、熱帯魚、音楽鑑賞をご趣味とされ、オーディオ関係にも精通されており、医師会館建設時に音響設備構築等にもご指導をいただきました。また、晩年は自転車にご興味をもたれ綾町までお出掛けになられていたとお聞きいたしております。

私ども会員一同は、先生の御遺志を継いで地域医療の充実に、なお一層の努力をいたして参りたいと存じます。

重城先生、惜別の情尽くし得ませんが、ここに謹んで先生の御霊前に哀悼の意を捧げ、地域医療に対する永年の御功績に心から感謝と敬意を表し、御冥福をお祈り申し上げ、お別れの言葉といたします。

先生どうぞ安らかに眠り下さい。

平成 24 年 8 月 19 日

宮崎市郡医師会

会長 川 名 隆 司

## ドクターバンク情報

(無料職業紹介所)

平成 24 年 8 月 15 日現在

本会では、会員の相互情報サービスとしてドクターバンク(求人・求職等の情報提供)を設置しております。登録された情報は、当紹介所で管理し秘密は厳守いたします。

現在、下記のとおり情報が寄せられております。お気軽にご利用ください。

お申込み、お問い合わせは当紹介所へ直接お願いいたします。

また、宮崎県医師会ホームページでも手続きと情報のあらましを紹介しておりますのでご覧ください。

### 1. 求職者登録数 3 人

#### 1) 男性医師求職登録数 2 人 (人)

希望診療科目	求職数	常勤	非常勤
内科	2	1	1

#### 2) 女性医師求職登録数 1 人

### 2. 斡旋成立件数 41 人

#### 1) 男性医師 30 人 2) 女性医師 11 人

### 3. 求人登録 89 件 318 人 (人)

募集診療科目	求人数	常勤	非常勤
内科	97	70	27
外科	31	25	6
整形外科	21	17	4
精神科	21	16	5
循環器科	16	16	—
脳神経外科	12	9	3
消化器内科	12	12	—
麻酔科	9	6	3
眼科	9	7	2
放射線科	11	10	1
小児科	6	5	1
呼吸器内科	5	5	—
リハビリテーション科	4	2	2
血液内科	3	3	—
神経内科	6	6	—
救命救急科	3	3	—
健診	4	2	2
産婦人科	2	2	—
泌尿器科	1	1	—
検診	2	—	2
皮膚科	2	2	—
人工透析	2	2	—
耳鼻咽喉科	2	2	—
その他	37	34	3
合計	318	257	61

## 求 人 登 録 者 (公 開)

※求人情報は、申し込みが必要です。宮崎県医師協同組合、  
無料職業紹介所(ドクターバンク)へお申し込み下さい。

※下記の医療機関は、公開について同意をいただいております。

登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
150005	医)りっか会ピア・メンタル ささき病院	宮 崎 市	精	2	常勤・非常勤
160011	赤十字血液センター	宮 崎 市	検診	2	非常勤
160013	医)三晴会 金丸脳神経外科病院	宮 崎 市	脳, 整, 放, 麻, 内	8	常勤・非常勤
160017	医)プレストピア プレストピアなんば病院	宮 崎 市	乳腺, 内	3	常勤
160020	財)弘潤会 野崎病院	宮 崎 市	精, 内, 放	3	常勤
160031	医)同心会 古賀総合病院	宮 崎 市	呼, 神内, 眼, 耳, 総診, 呼外, 循, 臨病	9	常勤
160033	医)如月会 若草病院	宮 崎 市	内, 精	3	非常勤
170040	医)いなほ会 日高医院	宮 崎 市	内	1	非常勤
170046	医)社団善仁会 市民の森病院	宮 崎 市	内, 消内, 内分泌内, 呼, 放, リウマチ	10	常勤・非常勤
170048	医)慶明会 けいめい記念病院	国 富 町	内, 眼	2	常勤
170052	医)春光会	宮 崎 市	外, 内	3	常勤
180061	医)あいクリニック	宮 崎 市	精	1	非常勤
180082	国立病院機構宮崎東病院	宮 崎 市	内, 神内, 整	5	常勤
190087	宮崎市郡医師会病院	宮 崎 市	消内	3	常勤
190094	医)耕和会 迫田病院	宮 崎 市	整, 内, 外	7	常勤・非常勤
190095	医)慶明会 宮崎中央眼科病院	宮 崎 市	眼	2	常勤・非常勤
190096	医)晴緑会 宮崎医療センター病院	宮 崎 市	消化, 外, 総内, 麻, 放, 精, 整, 循	13	常勤・非常勤
200104	医)社団善仁会 宮崎善仁会病院	宮 崎 市	内, 外, 救急, 化療, リハ	6	常勤
200105	医)誠友会 南部病院	宮 崎 市	内, 外, 放	3	常勤
210110	医)幸秀会 大江整形外科病院	宮 崎 市	整	1	常勤
210118	慈英病院	宮 崎 市	内, リハ	5	常勤・非常勤
220126	八代医院	宮 崎 市	内	1	非常勤
230128	医)真愛会 高宮病院	宮 崎 市	内	1	常勤
230132	医)康友会 青島クリニック	宮 崎 市	内	1	常勤
230134	医)慈光会 宮崎若久病院	宮 崎 市	精	2	常勤
230136	社会保険 宮崎江南病院	宮 崎 市	健診	1	非常勤
230139	介護老人保健施設サンフローラみやざき	国 富 町	内, 外	2	常勤
230140	医)将優会 クリニックうしたに	宮 崎 市	外, 内, 整, 家庭医, 総合臨床	1	常勤
240141	医)博愛社 佐土原病院	宮 崎 市	内	1	非常勤
160008	医)正立会 黒松病院	都 城 市	内, 泌	2	常勤
160010	特医)敬和会 戸嶋病院	都 城 市	内, 老内	2	常勤
160018	医)宏仁会 メディカルシティ東部病院	都 城 市	内, 救急, 放射, 脳外, 外, 総合	8	常勤
170042	医)豊栄会 豊栄クリニック	都 城 市	内, 老内, 精	3	常勤
170056	医)社団アブラハムクラブ ベテスダクリニック	都 城 市	循内, 脳外, 呼, 神内	5	常勤
170057	医)清陵会 隅病院	都 城 市	内, 外, 整	3	常勤
180064	国立病院機構都城病院	都 城 市	消内, 血内, 循, 内, 脳, 産婦, 耳鼻	9	常勤
180069	社)八日会 大悟病院	三 股 町	精, 内	2	常勤



登録番号	施 設 名	所 在 地	募 集 診 療 科	求人数	勤 務 形 態
180081	医)恵心会 永田病院	都 城 市	精	1	常勤
190092	都城市郡医師会病院	都 城 市	内,呼	4	常勤
190093	社)八日会 藤元早鈴病院検診センター	都 城 市	内	2	常勤・非常勤
210108	特医)敬和会 みまた病院	三 股 町	内,消内,循,皮,整,婦,小, 呼,放	10	常勤
210113	医)邦楽会 河村医院	都 城 市	内	1	常勤
210114	社)八日会 藤元病院	都 城 市	精	2	常勤
230127	医)倫生会 三州病院	都 城 市	外,内,麻	9	常勤・非常勤
230133	介護老人保健施設すこやか苑	都 城 市	不問	1	常勤
230135	医)廣師会 信愛医院	都 城 市	内	1	常勤
230137	医)宏仁会 海老原内科	都 城 市	内	1	常勤
160012	医)伸和会 共立病院	延 岡 市	外,整外,皮,放,内,肝外	6	常勤
160021	医)建悠会 吉田病院	延 岡 市	精	2	常勤
160034	特医)健寿会 黒木病院	延 岡 市	外,消内,緩ケア	4	常勤
160036	医)久康会 平田東九州病院	延 岡 市	内,外麻,精,神内,脳神経, 老施,心内	5	常勤・非常勤
190086	早田病院	延 岡 市	内	1	常勤
200100	医)育生会 井上病院	延 岡 市	産婦,内	2	常勤
200102	延岡市医師会病院	延 岡 市	消内	3	常勤
210109	延岡市夜間急病センター	延 岡 市	内,小,外,整	8	常勤・非常勤
210112	医)嘉祥会 岡村病院	延 岡 市	内	3	常勤・非常勤
160039	医)誠和会 和田病院	日 向 市	外,内,整,透	7	常勤
210111	宮崎県済生会 日向病院	門 川 町	内	3	常勤
230130	医)ラポール向洋	日 向 市	内	1	常勤
230131	医)向洋会 協和病院	日 向 市	内	1	常勤
160006	都農町国保病院	都 農 町	内,放,外,小	4	常勤
160023	医)宏仁会 海老原総合病院	高 鍋 町	整,内,心内,眼,健診,循,脳	16	常勤・非常勤
170058	国立病院機構宮崎病院	川 南 町	呼,循,消内,外	8	常勤
180077	医)聖山会 川南病院	川 南 町	眼,麻,脳	10	常勤・非常勤
160024	医)隆徳会 鶴田病院	西 都 市	内,外,整	6	常勤・非常勤
150002	医)慶明会 おび中央病院	日 南 市	内	1	常勤
150003	医)同仁会 谷口病院	日 南 市	精	1	常勤
160022	医)愛鍼会 山元病院	日 南 市	内,消内,神内	3	常勤
160037	医)十善会 県南病院	串 間 市	精,内	2	常勤・非常勤
170047	日南市立中部病院	日 南 市	内,神内,整,外	4	常勤
180071	串間市民病院	串 間 市	腎内	1	常勤
220124	医)月陽会 きよひで内科クリニック	日 南 市	内	4	常勤・非常勤
230129	医)秀英会 英医院	串 間 市	内	1	常勤
230138	小玉共立外科	日 南 市	不問	2	常勤・非常勤
160019	医)相愛会 桑原記念病院	小 林 市	内	2	常勤・非常勤
170043	医)和芳会 小林中央眼科	小 林 市	眼	1	常勤
180067	小林市立病院	小 林 市	内,循,呼,血内,健診,放,小	11	常勤
180076	医)友愛会 園田病院	小 林 市	外,内,整	4	常勤
190090	特医)浩然会 内村病院	小 林 市	精	2	常勤
190091	医)友愛会 野尻中央病院	小 林 市	整,内	4	常勤・非常勤
170049	五ヶ瀬町国保病院	五ヶ瀬町	整	1	常勤
180070	高千穂町国保病院	高千穂町	内,神内,循内	3	常勤・非常勤
190088	日之影町国保病院	日之影町	内,整	2	非常勤

## 病医院施設の譲渡・賃貸

◆譲渡，賃貸希望の物件を紹介いたします。

平成 24 年 8 月 15 日現在

1. 譲渡物件	① 宮崎市阿波ヶ原町前田 2633 番, 2634 番 土地のみ：593.57 坪 (2022.17m ² )
2. 賃貸物件	① 宮崎市曾師町 209-3 (旧 田川内科医院跡地) 建物：鉄筋コンクリート造 2 階建 1 階 183.35m ² , 2 階 166.69m ² ※駐車場：10 台分
	② 延岡市大門町 188-1 (旧 白坂内科医院跡地) 建物：鉄筋造平屋建 205m ² ※駐車場：10 台分

### ドクターバンク無料職業紹介所利用のご案内

1. 取扱範囲は宮崎県内全域です。但し，求職者は県外でも結構です。
2. 紹介受付は，月～金の午前 9 時から 12 時及び 13 時から 17 時です。
3. 申込み方法は，所定の用紙「求職票」「求人票」にご記入後登録させていただきます。
4. ご希望に沿った先を斡旋させていただきます。
5. 斡旋成立時の紹介料は，「求人」「求職」いずれも無料です。

お問合せ先

**ドクターバンク無料職業紹介所**

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 (宮崎県医師協同組合)

TEL 0985-23-9100(代)・FAX 0985-23-9179

E-mail: isikyou@m iyazakim ed.or.jp

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24 年 8 月 31 日現在

9			月		
1	土	9 : 00	日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	16	日
		14 : 00	新生児蘇生法講習会	17	月
		17 : 30	宮崎歯科技術専門学校創立 50 周年記念祝宴	(敬老の日)	
2	日	8 : 00	日本プライマリ・ケア連合学会学術大会	18	火
				14 : 00 (日医) 日医理事会 18 : 20 医協打合会 19 : 00 第 16 回常任理事協議会	
3	月	13 : 30	看護師等医療従事者の「雇用の質」の向上のための取組に関する企画委員会	19	水
		19 : 00	医学会誌編集委員会	9 : 10 全体課長会 (事務局) 19 : 00 三師会懇談会	
4	火	15 : 00	県医療計画策定委員会	20	木
		18 : 00	治験審査委員会	21	金
		19 : 00	第 14 回常任理事協議会		
5	水	14 : 00	(日医) 日医地域医療対策委員会	22	土
6	木	13 : 30	地域医療現場における働きやすい環境を考える会検討会	21 : 45 宮崎空港航空機事故消防救難総合訓練	
		19 : 00	県糖尿病対策推進会議幹事会	(秋分の日)	
7	金	14 : 00	産業医研修会	23	日
		19 : 30	女性医師委員会		
8	土	15 : 00	九州医師協同組合連合会監査会・理事会	24	月
		15 : 00	「医療と消費税」市民公開講座		
		15 : 30	園医部会総会・研修会		
9	日			25	火
10	月	14 : 00	宮崎空港消防救難救急医療緊急計画連絡協議会 (事務局)		
		19 : 00	健康スポーツ医学委員会		
		19 : 00	九州医師協同組合連合会通常総会試食会		
11	火	18 : 10	治験理事会	26	水
		19 : 00	第 15 回常任理事協議会		
12	水	16 : 00	支払基金幹事会		
13	木	14 : 00	日本学校保健会評議員会・理事会	27	木
		19 : 00	産業医研修会		
		19 : 30	県産婦人科医会常任理事会		
14	金	19 : 30	広報委員会	28	金
15	土	14 : 30	産業医研修会 (前期)	29	土
		15 : 00	県産科婦人科学会・県産婦人科医会市民公開講座		
		16 : 30	県産婦人科医会秋期定時総会		
				30	日

※都合により、変更になることがあります。

## 宮 崎 県 医 師 会 行 事 予 定 表

平成 24 年 8 月 31 日現在

10 月				月			
1	月	19:00	学術生涯教育委員会	17	水	9:10	全体課長会（事務局）
2	火	18:00 19:00	治験審査委員会 第 17 回常任理事協議会	18	木	19:00	産業医研修会
3	水			19	金	13:30	全国医師国保組合連合会全体協議会
4	木	10:00 19:00 19:00	（日医）日医社会保険指導者講習会 健康教育委員会 医療安全対策セミナー	20	土	8:00 14:30 16:30	全国医師国保組合連合会全体協議会・観光 産業医研修会（実地） 九州医師協同組合連合会通常総会
5	金	10:00 15:00	（日医）日医社会保険指導者講習会 （日医）日医医療秘書認定試験委員会	21	日	9:00	九州医師協同組合連合会通常総会関連行事 全国医師国保組合連合会全体協議会・観光
6	土		全国医師会勤務医部会連絡協議会 県警察医会総会	22	月	19:00	広報委員会
7	日			23	火	19:00	第 20 回常任理事協議会
8	月		（体育の日）	24	水		
9	火	19:00	第 18 回常任理事協議会	25	木		
10	水	16:00	支払基金幹事会	26	金	15:00 18:00	（日医）日医医療秘書認定試験委員会 九州地方社会保険医療協議会宮崎部会
11	木	14:00 19:00 19:00 19:30	産業医研修会 県警察医会協議会 県内科医会学術委員会 県産婦人科医会常任理事会	27	土	15:00	国民保護共同訓練 日医社会保険指導者講習会復講
12	金			28	日	9:00 9:30	（日医）九州ブロック日医代議員連絡会議 （日医）日医臨時代議員会・臨時総会
13	土	9:00 15:00 16:10 16:10	ICLS 研修会 日本臨床内科医会九州ブロック会議 九州各県内科医会連絡協議会 九州各県内科審査委員懇話会	29	月	19:00	高次脳機能障がい講演会
14	日	8:30	ACLS 研修会	30	火	18:15 19:00 終了後	医協理事会 第 8 回全理事協議会 医協理事・運営委員合同協議会
15	月	19:30	広報委員会	31	水	15:00	労災診療指導委員会
16	火	14:00 19:00	（日医）日医理事会 第 19 回常任理事協議会				

※都合により、変更になることがあります。

# 医 学 会 ・ 講 演 会

## 日本医師会生涯教育講座認定学会

注：数字は日本医師会生涯教育制度認定単位・カリキュラムコード（cc）。当日，参加証を交付。  
がん検診；各種がん検診登録・指定・更新による研修会。波線；専門研修会以外の産業医研修会。  
アンダーラインの部分は，変更になったところです。

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
西臼杵地区学術講演会 (1.5単位) (cc：84)	9月4日(火) 18：50～ ホテル高千穂	感染症の診断と治療 宮崎大学医学部内科学講座 免疫感染病態学講師 長友 安弘 宮崎県における救急医療の現状と問題点 並びに宮崎大学救命センターの役割について 同大学医学部救急・災害医学教授 落合 秀信	◇主催 西臼杵郡医師会 ◇共催 M SD (株) (連絡先) 佐藤医院 ☎ 0982-73-2010
第 73 回宮崎市郡医師会心臓病研究会 (1.5単位) (cc：8 , 9 , 15)	9月4日(火) 19：00～20：30 宮崎観光ホテル	循環器疾患における上部消化管合併症の課題 福井循環器病院副院長 水野 清雄	◇共催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 アストラゼネカ(株) 第一三共(株)
宮崎県医師会産業医研修会(生涯研修の専門研修会2単位) (2単位) (cc：5 , 11, 69, 70)	9月7日(金) 14：00～16：00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 事業所におけるメンタルヘルスについて 西都病院 植田 勇人	◇共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
南那珂医師会生涯教育医学会 (1単位) (cc：46, 79)	9月7日(金) 18：50～20：00 南那珂医師会館	気管支喘息治療に関する最新の動向 －治療薬の選択と吸入指導の実際－ 鹿児島大学医学部歯学部附属病院 呼吸器・ストレスケアセンター 呼吸器内科講師 東元 一晃	◇共催 ※南那珂医師会 ☎ 0987-23-3411 アストラゼネカ(株) アステラス製薬(株)



名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
延岡医学会学術講演会 (1 単位) (cc : 1 , 3)	9 月 7 日(金) 19: 00～ 20: 00 ホテルメリージュ 延岡	地域小児医療の意義と将来的展望, 研究 大分大学医学部小児科教授 泉 達郎	◇主催 ※延岡市医師会 ☎ 0982-21-1300
動脈硬化性疾患 予防ガイドライン 2012年版普及啓発 共催セミナー (1.5 単位) (cc : 75)	9 月 7 日(金) 19: 30～ 21: 30 ホテルスカイタワー 延岡	動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2012 年 版の概要と改訂のポイント 京都大学人間健康科学系専攻 教授 荒井 秀典  パネルディスカッション：動脈硬化性疾 患予防ガイドライン 2012 年版はこうして 実地臨床に生かす	◇共催 日本動脈硬化学会 宮崎県内科医会 ※大塚製薬㈱ ☎ 0985-24-2287
日本死の臨床研究 会九州支部第 3 回 研究集会・第 20 回 都城緩和ケア研究 会 (3 単位) (cc : 80, 81)	9 月 8 日(土) 12: 30～ 16: 00 ウェルネス交流 プラザ 500 円	テーマ：全人的ケアを考える がん患者のスピリチュアルペインとその ケア 京都ノートルダム女子大学 生活福祉文化専攻特任教授 村田 久行	◇共催 日本死の臨床研究会 九州支部 都城緩和ケア研究会 (連絡先) 三州病院 ☎ 0986-22-0230
平成 24 年度宮崎県 医師会園医部会総 会・研修会 (2 単位) (cc : 1 , 11, 12, 13)	9 月 8 日(土) 15: 30～ 18: 00 県医師会館	感染症の登園基準について 三宅小児科医院 三宅 和昭 園生活を快適にする予防接種情報 たかやま小児科 高山 修二	◇主催 ※宮崎県医師会園医部会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
第 13 回宮崎県骨関節研究会 (1 単位) (cc : 73)	9 月 8 日(土) 17: 30～ 19: 30 宮崎観光ホテル	整形外科領域の疼痛疾患に対する薬物療法 ーオピオイドを中心にー 獨協医科大学麻酔科学主任教授 濱口 眞輔	◇主催 宮崎県臨床整形外科医会 ◇共催 ※久光製薬(株) ☎ 099-219-9891
第 15 回宮崎神経眼科セミナー (2.5 単位) (cc : 1,2,13,36)	9 月 8 日(土) 18: 30～ 21: 00 宮日会館 2,000円	視野のみかた 愛知淑徳大学視覚科学教授 柏井 聡	◇共催 宮崎神経眼科ネットワーク 参天製薬(株) (連絡先) 尾崎眼科 ☎ 0982-52-5600
第 24 回宮崎県糖尿病教育セミナー (5 単位) (cc : 1,2,5,9,10,15,23,36,76,82)	9 月 9 日(日) 9: 55～ 16: 15 延岡総合文化センター 3,000円 (抄録集,昼食代込み)	糖尿病とCKD 宮崎大学医学部血液・血管先端医療学教授 藤元 昭一 糖尿病の検査 ー特に血糖コントロール指標を中心としてー 矢野内科クリニック院長 矢野 伸樹  パネルディスカッション：合併症にまつわる治療・療法・指導のあれこれ	◇共催 宮崎県糖尿病懇話会 ※ノボ・ノルディスクファーマ(株) ☎ 080-5884-3802 ◇後援 宮崎県医師会
第 50 回宮崎インターベンション研究会 (2 単位) (cc : 1,2,8,9)	9 月 11 日(火) 18: 45～ 20: 45 宮崎観光ホテル	EVT for PAD patients in TMH -CVC 時計台記念病院循環器センター長 浦澤 一史	◇共催 ※宮崎市郡医師会病院 ☎ 0985-24-9119 田辺三菱製薬(株)
第 40 回南那珂糖尿病連携ネットワーク会議 (1 単位) (cc : 10,76)	9 月 12 日(水) 18: 30～ 19: 30 県立日南病院	糖尿病の運動療法を体験する！ リハステップ郷 高橋 能久	◇主催 南那珂糖尿病連携ネットワーク ◇後援 ※県立日南病院医療連携科 ☎ 0987-23-3111

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
第8回 Osteoporosis Clinical Network 研究会 (1.5単位) (cc: 11,13,77)	9月12日(水) 19:15～21:00 宮崎観光ホテル 500円	骨粗鬆症診療をめぐる最近のトピックス 杏林大学整形外科学教授 市村 正一	◇共催 Osteoporosis Clinical Network 研究会 ※MSD(株) ☎080-6775-6842
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研 修の専門研修会2 単位) (2単位) (cc: 1,3,8,9)	9月13日(木) 19:00～21:00 県医師会館	(1)総論 この頃の産業保健の動き —平成23年度厚労省発表資料— 西部労働衛生コンサルタント事務所 代表 矢野 武	◇共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研 修の前期研修会3 単位) (3単位) (cc: 1,5,6,11,69,70)	9月15日(土) 14:30～17:30 県医師会館	(3)メンタルヘルス対策 就業者のメンタルヘルスについて 都城新生病院 前原 正法 (1)総論 産業医活動の実際について(仮) 宮崎大学安全衛生保健センター 准教授 江藤 敏治	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第101回児湯カン ファレンス (1単位) (cc: 11,74)	9月18日(火) 18:45～20:00 ホテル四季亭	新しいCKD診療ガイドライン —高血圧・貧血治療も含めて— 宮崎大学医学部血液・ 血管先端医療学教授 藤元 昭一	◇共催 ※児湯医師会 ☎0983-22-1641 協和発酵キリン(株)
南那珂外科系医会 医学会 (1単位) (cc: 73,84)	9月20日(木) 18:50～20:00 南那珂医師会館	外科・整形外科領域におけるPPD投与の 意義 藤元早鈴病院消化器内科部長 駒田 直人	◇共催 南那珂外科系医会 ※南那珂医師会 ☎0987-23-3411 アストラゼネカ(株) 第一三共(株)

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
第 70回江南医療連 携の会・症例検討 会 (1.5単位) (cc：12,25)	9月20日(木) 19：00～20：30 社会保険宮崎江南 病院	脂肪性軟部腫瘍の画像診断 －MRIを中心に－ 宮崎江南病院検診センター長 杜若 陽祐 まつりえれこっちゃんみやざきにて開催の 「生活習慣病予防キャンペーンinみやざき」 の結果報告 同病院内科部長 渡邊 玲子 術前のwound bed preparationとして局 所陰圧閉鎖療法を用いた経験 同病院形成外科医長 津田 雅由	◇主催 江南医療連携の会 (連絡先) 宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575
宮崎木曜会 がん検診(大腸) (2単位) (cc：50,51,53,54)	9月20日(木) 19：00～21：30 ホテルメリージュ	炎症性腸疾患の臨床 東邦大学佐倉病院教授 鈴木 康夫 消化管癌の抗癌剤治療 国立がん研修センター東病院 設楽 紘平	◇共催 宮崎木曜会 ※ゼリア新薬工業(株) ☎ 092-411-1241
平成 24年度日向・ 東臼杵地区結核研 修会 (1.5単位) (cc：12,13,46)	9月20日(木) 19：00～20：30 日向市東臼杵郡医師 会館	診療に役立つ結核診断のポイント －高齢者の非典型的な症状に潜む結核－ 国立病院機構熊本南病院 呼吸器科医長 山中 徹	◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 日向保健所
第 27回宮崎県北脈 管研究会 (1.5単位) (cc：13,44,62)	9月21日(金) 18：45～20：30 ホテルメリージュ 延岡	心臓血管病克服への挑戦 ①内膜肥厚病変の病態生理 ②難治症例へのチャレンジ 久留米大学医学部外科学教授 田中 啓之	◇共催 宮崎県北脈管研究会 延岡医学会 ※大正富山医薬品(株) ☎ 092-451-7884

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
宮崎地区リウマチ 教育研修会 (5単位) (cc: 2, 9, 10, 11, 15, 19, 61, 62, 73, 77)	9月23日(日) 9:00～16:30 宮日会館 10,000円(一般医) 7,000円 (日本リウマチ財団登録医)	関節炎・腱・腱付着部炎を診る ー超音波を用いた関節リウマチの診断・ 評価ー 飯塚病院顧問 大田 俊行 関節リウマチの薬物療法 ー最近の話題MTX・抗リウマチ薬ー 長崎大学病院第一内科教授 川上 純	◇共催 日本リウマチ財団 ※ブリストル・マイヤーズ㈱ ☎092-474-3211 ◇後援 日本リウマチ学会 臨床リウマチ学会 日本整形外科学会
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研 修の専門研修会2 単位) (2単位) (cc: 5, 6, 13, 69)	9月27日(木) 14:00～16:00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 セルフ&ラインケア ー交流分析からみる人間関係ー 都城新生病院 前原 正法	◇共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 ※宮崎県医師会 ☎0985-22-5118
第95回南那珂消化 器カンファレンス 特別講演会 (1.5単位) (cc: 2, 15)	9月27日(木) 19:00～20:30 県立日南病院	ここまでわかる上部消化器内視鏡 京都府立医科大学消化器内科准教授 八木 信明 症例検討会	◇主催 南那珂消化器カン ファレンス ◇共催 南那珂医師会 アストラゼネカ㈱ 第一三共㈱ (連絡先) 県立日南病院 ☎0987-23-3111
延岡医学会学術講 演会 (1単位) (cc: 4, 13)	9月28日(金) 19:00～20:20 ホテルメリージュ 延岡	今,いのちを考える ー地域完結型の健康と医療ネットワーク 推進ー 福岡大学医学部産婦人科教授 瓦林 達比古	◇共催 延岡医学会 県北産婦人科医会 ※久光製薬㈱ ☎099-219-9891



名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
第 28 回宮崎呼吸器 乳腺懇話会 がん検診(乳) (1.5 単位) (cc : 8 ,13,15)	9 月 28 日(金) 19: 00～ 20: 30 KITEN 500 円	県立宮崎病院における「宮崎県がん地域連 携パスー乳がんー」の運用状況 県立宮崎病院外科医長 大友 直樹	◇共催 宮崎呼吸器乳腺懇話会 ※協和発酵キリン(株) ☎ 0985-22-8801
日向市東臼杵郡医 師会スポーツ医学 講座 (1 単位) (cc : 57,62)	10 月 5 日(金) 19: 00～ 21: 00 ホテルベルフォート 日向	いわゆる“肉離れ”についてー 2012ー 国立スポーツ科学センター スポーツ医学研究部 奥脇 透	◇共催 ※日向市東臼杵郡医師会 ☎ 0982-52-0222 久光製薬(株)
宮崎県警察医会総 会・特別講演会 (2 単位) (cc : 1 ,2 ,3 ,4)	10 月 6 日(土) 15: 20～ 17: 10 宮崎北警察署	ドイツと日本の死因究明制度 宮崎大学医学部法医学助教 小澤 周二 法医解剖(医)のみで死因究明は可能か？ 長崎大学医学部法医学名誉教授 中園 一郎	◇主催 ※宮崎県警察医会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県医師会産業 医研修会(生涯研 修の専門研修会 2 単位) (2 単位) (cc : 5 ,6 ,13,69)	10 月 11 日(木) 14: 00～ 16: 00 県医師会館	(4)メンタルヘルス対策 セルフケア体験：自立訓練法ー 都城新生病院 前原 正法	◇共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
第47回宮崎県スポーツ学会 (3単位) (cc: 11,30,32, 57,60,61)	10月13日(土) 15:00～18:30 宮日会館 1,000円	競技復帰のためのアスレティックリハビリテーションの実際 国際武道大学体育学部スポーツトレーナー学科教授 山本 利春 スポーツ傷害予防の研究方法与新たな展開ースポーツ現場ですべきことー 大阪大学器官制御外科学講師 中田 研 スポーツでの頭部外傷 ー知っておいてほしいことー 東京慈恵会医科大学脳神経外科教授 谷 諭	◇共催 宮崎県スポーツ学会 久光製薬(株) (連絡先) 宮崎大学医学部整形外科 ☎ 0985-85-0986
宮崎県医師会産業医研修会(生涯研修の専門研修会2単位) (2単位) (cc: 5,11,69,70)	10月18日(木) 19:00～21:00 県医師会館(TV会議: 都城,延岡,日向,児湯, 西都,南那珂,西諸)	(4)メンタルヘルス対策 職場のうつ病対策における問題点 ー内科産業医の視点からー 宮崎産業保健推進連絡事務所 代表 小岩屋 靖	◇共催 宮崎産業保健推進連絡事務所 ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118
宮崎県医師会産業医研修会(基礎研修・生涯研修の <u>実地研修会</u> 2単位) (2単位) (cc: 2,9,11,38)	10月20日(土) 14:30～16:30 県医師会館	(6)作業環境管理・作業管理 騒音測定と評価 久留米大学医学部環境医学教授 石竹 達也 帝京平成大学地域医療学部 作業療法学科教授 原 邦夫	◇主催 ※宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

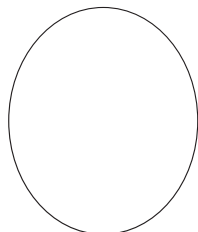
名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
宮崎インスリン療法研究会 (1.5単位) (cc : 8,15,76)	10月 27日(土) 17: 00～ 18: 30 KITEN	CGM とインスリン療法(仮) 自治医科大学内分泌代謝学准教授 長坂 昌一郎	◇共催 宮崎インスリン療法研究会 ※日本イーライリリー(株) ☎ 092-724-0450
江南医療連携の会 ・特別講演会 (1.5単位) (cc : 62,76)	10月 27日(土) 18: 30～ 20: 40 MRT-micc 500円	糖尿病足病変のフットケアについて(仮) 佐賀大学医学部形成外科学教授 上村 哲司	◇共催 江南医療連携の会 小野薬品工業(株) (連絡先) 宮崎江南病院 ☎ 0985-51-7575
平成 24 年度九州地区リウマチの治療とケア研修会 (4単位) (cc : 5 ,9 ,10, 18,19,61,62,73)	10月 28日(日) 13: 00～ 17: 05 MRT-micc	関節リウマチのトータルマネジメントと 災害時リウマチ患者支援 日本リウマチ財団リウマチのケア研究委員会委員長・一番町リウマチ クリニック顧問 山本 純己 リウマチ治療における リハビリテーションの役割 八幡総合病院整形外科・ リハビリテーション科部長 原口 和史	◇共催 日本リウマチ財団 ※中外製薬(株) ☎ 0985-20-8118
「皮膚の日」講演会 (1.5単位) (cc : 1 ,2 ,9)	11月 11日(日) 14: 00～ 15: 30 宮日会館	石ケン(化粧品類),花粉類,ゴムを原因とする食物アレルギー ーアレルギーを正しく知ろうー 青木皮膚科 出盛 允啓	◇主催 宮崎県皮膚科医会 ◇共催 日本臨床皮膚科医会 ◇後援 厚生労働省 日本医師会 宮崎県医師会 NHK (連絡先) 青木皮膚科 ☎ 0985-23-2011

名 称	日時・場所・会費	演 題	そ の 他 ※＝連絡先
宮崎県医師会産業 医研修会(基礎研 修の後期研修会お よび生涯研修の更 新研修会) (5単位) (cc:1,3,4, 7,8,9,11,38)	11月25日(日) 9:30～15:00 シーガイアコンベン ションセンター	(1)総論(基礎後期) (1)労働衛生関係法規と関係通達の改正(生涯更新) 「労働安全衛生法関係法令(仮)」 労働局担当官 (7)作業管理(基礎後期・生涯専門) 「危険有害物に関するリスク管理」 福島県立医科大学衛生学・ 予防医学教授 福島 哲仁 (6)作業環境管理(基礎後期・生涯専門) 「騒音難聴について(仮)」 宮崎大学医学部公衆衛生学教授 黒田 嘉紀 (1)総論(基礎後期・生涯専門) 「企業を元気にする産業医活動」 日本ヘルスサイエンスセンター 代表 石川 雄一 (1)総論(基礎後期) (1)労働衛生関係法規と関係通達の改正(生涯更新) 「特殊健康診断等の改正について」 産業医科大学医学部産業衛生学 教授 川本 俊弘	◇主催 宮崎県医師会 ☎ 0985-22-5118

所得補償保険のご案内



## 診療メモ



## 性同一性障害について

中山医院 ^{なか}中 ^{やま}山 ^{けん}健

はじめに

性同一性障害(gender identity disorder, 以下, GID と略す)とは生物学的性(sex)が性の自己意識(gender)と一致しない状態をいい, 男性から女性への転換を求める male to female transsexual(以下, MTF と略す)と女性から男性への転換を求める female to male transsexual(以下, FTM と略す)がある。

GID が世間に知られたのは古くは1969年のブルーボーイ事件で, ある産婦人科医がMTFの3名に精巣全摘除術を行い, 優生保護法違反で有罪となった。また, 2001年秋からテレビ放映された「3年B組金八先生」ではFTMの中学生が登場し, MTFの東京都世田谷区議員も話題となった。子供のGIDに対しては2010年4月, 文部科学省が学校現場に医療機関との連携などによる十分な配慮を, 教委へは学校への情報提供や指導・助言を求める通知を出した。これに関しては, 同年6月に某全国紙がシリーズで取り上げた。当県医師会も同年9月4日の医学会でGIDをテーマの1つとし, 宮崎大学の石田康教授による特別講演を行った。しかし, 現在も一般のGIDに対する認知度は充分ではない。

GIDの病態

日本精神神経学会のGIDに関する答申と提言(1997年)によれば, GIDとは「生物学的には完全に正常であり, しかも自分の肉体がどちらの性に属しているかははっきりと認識していながら,

その反面で, 人格的には自分が別の性に属していると確信している状態」と定義されている。こうした確信に基づいて, 日常生活においても女(男)性の装身具類を身につけたり, 女(男)性の性別役割を実行したりする。さらに満足せず, 本物の女(男)性になりたいという変性願望や性転換願望を持ち, ホルモン投与や性転換術を希望する場合も多い。

このGIDの疾患単位の意味づけは近年変遷がみられ, 性別違和症候群と呼ばれる広い概念に内包する考えも提唱されているが, これについては本稿では割愛する。

中核的性の自己認知の確立は生後18か月から2歳頃には完成し(imprinting), 生涯を通じて変化しないとされている。したがって, この時期までに生物学的性と異なる性がin printされればGIDとなる可能性が生じる。このメカニズムとして, 脳の機能的性分化にはアンドロゲンやプロゲステロンなどの性ホルモンが関与し, 性行動の分化には脳組織のアロマターゼの誘導が関与するとの考えもある。しかし, 未だ不明な点も多い。

GIDの診断

初めは性の自己意識(gender identity)の判定で, 養育歴, 生活史や性行動歴などについて充分聴取し, 性別違和の実態を把握する。すなわち, MTF, FTMとも典型的には思春期以降の肉体的変化に著しい不快感を抱き, 学校では制

服、トイレや更衣室あるいは修学旅行などにも適応できず、登校拒否やリストカットなどの自傷行為にはしり、自殺企図も生じる。長じては職業の選択が困難で、職場での慣習的な性役割にも耐えられなくなる。なお、これらの状況の聴取にあたっては、本人のみならず家族や友人などからも行うことが診断やその後の加療に重要と考える。次に内・外性器の診察と検査、染色体検査やホルモン検査などを行って生物学的性を決定し、終りに精神障害、文化的社会的理由や職業的利得などの除外診断をして診断を確定する。

#### 治療

第 1 段階は精神療法である。すなわち、カウンセリングにより各症例の選択した性による生活を実際に行うこと (real life test) を支援し、できればこれを 1 年以上継続する。しかし、現実にはこの段階が充分でないままに次の段階に進む例も多い。第 2 段階はホルモン療法で、この目的はいうまでもなく各症例が日常生活を送るためにより適応し易い肉体的、精神的な状態を作り出すことにある。当然、本療法施行の際は利益と不利益について本人に充分説明し、理解と同意を得る必要がある。ホルモン剤は MTF に対してはエストロゲンと時にプロゲステロン、FTM に対してはアンドロゲンを投与し各々の身体の女性化、男性化をはかるが、投与方法の実際については成書にゆずる。ちなみに、自験例の FTM では本療法が順調に推移しても、乳房切除を希望する事例が多くみられた。子どもの GD の場合、性ホルモンの分泌を抑えて第 2 次

性徴を止めるブロック療法は有効であるが、18 歳未満に対するホルモン療法は日本精神神経学会の従来のガイドラインでは認められていなかった。しかし、同ガイドライン (第 4 版) では一定条件下でのこれが認められた。第 3 段階の手術療法は上記の療法にもかかわらず自己の肉体的性別に対する違和感が払拭できず、強く手術を望む事例に対して行われる。この性転換手術は sex reassignment surgery : SRS (性別判定手術) の邦訳で、gender confirming surgery とも呼ばれる。種類として内・外性器手術や乳房手術があり、顔面や頸部の手術が行われることもある。いずれの場合も、手術結果と共に精神的な経過観察が必要となる。但し、これらの手術を行う施設は本邦では少ない。

2003 年 7 月 10 日、「性同一性障害者の性別の取扱いの特例に関する法律」が成立し、(1) 20 歳以上、(2) 現に婚姻をしていない、(3) 現に子がいらない、(4) (SRS などで) 生殖腺がないか生殖腺の機能を永続的に欠く状態にある、(5) 身体に他の性別の性器に近似する外観を備えている、のいずれにも該当する場合、本人の申し立てにより家庭裁判所が「性別の取扱いの変更の審判」をすることができるようになった。しかし、この要件を満たすためには SRS の実施がほぼ必須であり、ハードルは高い。

#### おわりに

GD について概説を述べた。多くの方々がこの疾患に関心を持って頂くことを期待して、稿を終える。

## お知らせ

県医師会から各郡市医師会へ送付しました文書についてご案内いたします。詳細につきましては、会員専用ページをご覧ください。また、所属郡市医師会へお問い合わせください。また、MMA 通信(県医師会から会員への情報提供メーリングリスト)でも本文書について随時ご案内しておりますので、まだご登録されていない会員はぜひご登録をお願いします。

会員専用ページへのアクセス方法

宮崎県医師会 (<http://www.miyazakimed.or.jp/>) にアクセス

県医師会ホームページ右下の「会員専用ページ」をクリック

ユーザー名：医籍登録番号を入力

パスワード：生年月日(西暦の下二桁と月日)を入力(初期設定)

例) 1950 年 11 月 2 日生まれの場合, 501102

※ MMA 通信への登録をご希望の方は、県医師会地域医療課までご連絡ください

(TEL 0985-22-5118)。

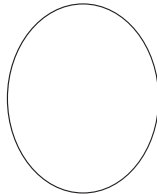
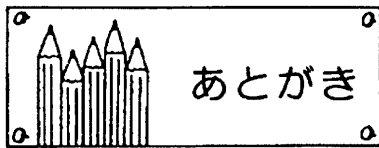
送付日	文 書 名
7 月 26 日	・ 4 種混合ワクチン(DPT -IPV)の定期接種導入について     ・ 風しん対策の更なる徹底について
7 月 30 日	・ 財務省共済組合員証の無効について(通知)     ・ 精神科病院(認知症病棟)における結核集団感染事例の発生について     ・ 麻しん風しんの第 3 期・第 4 期予防接種の促進について     ・ 共済組合証の無効通知について     ・ 医療用医薬品の有効成分の一般用医薬品への転用について     ・ 麻薬、麻薬原料植物、向精神薬及び麻薬向精神薬原料を指定する政令の一部を改正する政令の施行について     ・ 新医薬品の再審査結果平成 24 年度(その 1)について
8 月 1 日	・ 平成 24 年度院内感染対策講習会について(通知)
8 月 6 日	・ 平成 24 年度の医療法第 25 条第 1 項の規定に基づく立入検査の実施及び同要綱の一部改正について     ・ 「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の制定について
8 月 7 日	・ 予防接種実施規則の一部を改正する省令の施行等について     ・ 人を発病させるおそれがほとんどないものとして厚生労働大臣が指定する病原体等の一部を改正する件の公布について
8 月 9 日	・ 『労災診療費算定基準(平成 24 年 4 月 1 日現在)』の送付について

送付日	文 書 名
8 月 10日	・宮崎県特定健診・特定保健指導に関する従事者研修会(実践編)の開催について(依頼)     ・チクングニア熱の輸入感染症例について     ・不活化ポリオワクチンに係る予防接種者数の把握について     ・「世界糖尿病デー」公式ポスター・チラシの申し込みについて
8 月 14日	・医療機器の不具合等報告の症例の公表及び活用について(周知依頼)     ・国立保健医療科学院が開催する死体検案研修について
8 月 15日	・支払基金における突合点検、縦覧点検の実施に関する被災 3 県の対応について     ・医療機器の不具合等報告の症例の公表及び活用について(周知依頼)
8 月 16日	・独立行政法人福祉医療機構の貸付利率の改定について     ・かかりつけ医と精神科医との連携等の活動に関するアンケートへの協力について     ・地域保健対策の推進に関する基本的な指針の一部改正について     ・4 種混合ワクチンの導入に係る準備方依頼について     ・チクングニア熱の輸入感染症例について
8 月 22日	・外国人が行う免許申請等に添付する書類について(通知)
8 月 24日	・社会医療法人のへき地要件について     ・国内で検定を受けていない不活化ポリオワクチンの使用について
8 月 27日	・津波防災地域づくりに関する法律について
8 月 28日	・「輸血血液の研究開発等での使用に関する指針」について

-----

あなたできますか？（解答）

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
a	c	a	d	d	a, c	e	a	a	e



編集後記を思案しながら、ふと思った。もう少しで8月も終わりです。そこで夏の過ごし方を振り返ってみました。小中学校では、遊びや部活に必死で、ある日、残りの休みが1週間を切ったのに気づき、気の進まない自由研究や工作物の製作、その他プリントなどの泥縄大作戦が始まる。楽しく長く、熱い昼と、なかなか着手できず、焦りばかりが募る、蒸し暑く短く

長い夜。高校では補習と宿題に追われるも、図書館など冷房の効いた場所を見つける知恵がついた。浪人には夏休みはなく、大学時代は毎日が夏休み?!イベントはなくとも、毎日がワクワクしていた。外科入局後は、夏休みはなく、日常となんら変わりのない日々、空調の効いた病院では、暑さどころか、雨なのか晴れなのかも気づかず終日過ごすことが多かった。ただ、病室に空調の入らない5~6月の数週間の教授回診は二重に地獄のような蒸し暑さを感じたがそれも今は昔(最近病棟改築した際に個別空調を併用し改善されたとのこと)。開業して3年目の夏。今年は、雨がちで6月の朝8時の外気温は20~22度。7月2日に急に暑くなり26度となった(熱帯夜の定義は夜間の最低気温が25度以上)。省エネとはいえ、日中はエアコンをかけているので、出入りの業者さんが『今日はとても暑かった』と言われてもびんとこない。仕事や雑事で日が暮れる。夜はオリンピック観戦、1回の飲み会(8月は8回)、形ばかりの福岡への家族旅行であっという間に子どもの新学期が始まり夏休みは終わった。本当に大人の夏は短い(宿題がなくのんびんだったらしているから?)。ところで編集後記って夏の宿題? (篠原)

* * * * *

消費税増税法案が可決され、「医療と消費税」の議論が喫緊の課題となりました。医療費は「非課税」であるため最終消費者は患者ではなく医療機関です。最終消費者が全額負担するのが日本式消費税の原則ですので、医療機関の「仕入れ」にかかった消費税は控除されず利益から持ち出し(損税)となります。もし課税が認められれば、例えば「消費税0%」でも医療機関は最終消費者ではなくなり、消費税の控除(還付)が可能となります。「仕入れ」には薬品や物品の購入だけでなく、リース料、不動産の賃貸料、水光熱費、派遣労働者の派遣料など各種サービスの購入も含まれるのです。(尾田)

* * *

先日沖縄の県立博物館を見学する機会がありました。県内に生息する様々な動植物が展示してありましたが、なぜか野鳥の「みさご」にだけ「英名はオスブレイ」だと表示してありました。さて、米軍のオスブレイですが、自然環境や遺跡に対する悪影響に配慮してハワイの空港を訓練に使用することを断念したそうです。当然のことです。では、住宅街が隣接する普天間基地へ配備することや、宮崎県北部などを低空飛行の訓練に使うことは許されるのでしょうか。日米政府のでたらめさに腹が立ちます。(上野)

* * *

どこかの小国が日本に宣戦布告し、ボロ漁船で攻めてくる。人びとは右往左往し、頼みの米国は、兵器は貸してあげるから自分で何とかしなさい、とつれない。賠償金だか、補助金だかわからないお金で丸く収まるが、また他の国が宣戦布告…。

いえいえ、現実の話ではなく、星新一のショートショートにこんな話がありました。人任せにできた祖国のあり方、この世界でどう日本が生き延びていくかという問題に、今からでも良い、きちんと向き合う必要があると思います。(姫路)

* * *

夏休みに地元の茨城に帰省し、近辺のいろいろな病院を見学しに行ってきました。とても楽しく、また勉強になりました。基本的に総合診療科か救急をまわりましたが病院によってシステムは様々で、そこで研修をされていた研修医の先生方も「あれができるがこれはやったことがない」など病院ごとに色とりどりでした。また、病院見学中に何人か宮崎大学出身の先生にお会いできたことはとてもうれしかったです。先輩が全国各地で頑張っている姿を拝見することは、私にとってとても励みになりました。(藪内)

* * *

五年生の夏休みを振り返ってみると、西医体や病院見学などなかなか充実していたように思います。また今年は定期試験がないこともあり、それぞれを思い切り満喫することもできました。その中でも病院見学は来年のマッチングやその先の臨床研修などを身近に感じ、良い刺激となりました。悩みや不安は尽きませんが、九山や西医体を通じて知り合った他大学の先輩方や友人との繋がりがきっと助けとなってくれそうです。残りの夏休み、ゆっくりできる人生最後の夏休みになるかもしれません。しっかり満喫して宮崎に帰ろうと思います。(湯淺)

* * *

本紙の表紙写真は医家芸術展に出展された作品の中から選んで掲載させていただいています。9月号は石川万佐子先生の作品です。先生の自筆の作品説明とともにご覧ください。リハビリに頑張っておられる先生の心のこもった作品です。8月号のあとがきの、虹の写真は印刷所のご厚意で特別に、カラーにさせていただきました。ありがとうございます。(青木)

* * *



## 今月のトピックス

### 日州医談 小児救急医療を考える

小児救急医療現場の課題について、全国的に大きな反響を呼んだ宮崎大学医学部学生による「宮崎市夜間急病センター利用実態調査報告」の結果を紹介しつつ、保護者と医療関係者との救急医療に対する認識の差をテーマに考察し、かつ具体的解決策について述べていただきました。また予防接種の重要性など、単に保護者への啓発・教育にとどまらない世代間継承される息の長い健康教育の必要性についてもご提言をいただきました。常任理事の佐藤雄一先生からのご寄稿です。是非ご一読ください。

4 ページ

### 日州医談 宮崎県医師会電子カルテに関するアンケート結果

電子カルテを導入する医療機関の増加に伴い、契約時の説明不足によるトラブルやサポートに関する不満の声が県医師会に寄せられるようになっていきます。電子カルテ普及のための環境づくりの一環として診療所向けに実態把握のためのアンケート調査を行い、その結果報告と今後の対策の方向性について常任理事の荒木早苗先生に述べていただきました。

6 ページ

### 診療メモ 性同一性障害について

生物学的性が性の自己意識と一致しない状態を性同一性障害といい、現在も一般の認知度は十分ではありません。性同一性障害の病態と診断、また社会的な問題点と法的な取り扱いを示しつつ、ガイドラインによる治療法の実際を中山健先生にわかりやすく解説していただきました。

60 ページ

日 州 医 事 第 75 号（平成 24 年 9 月号）（毎月 1 回 10 日発行）

発行人 公益社団法人 宮 崎 県 医 師 会

〒 880-0023 宮崎市和知川原 1 丁目 10 番地 TEL 0985-22-5118(代)・FAX 27-6550

<http://www.iyazakimedor.jp/> E-mail office@iyazakimedor.jp

代表者 稲 倉 正 孝

編 集 宮崎県医師会広報委員会

委 員 長 尾田 朋樹・副委員長 上野 満、黒川 基樹

委 員 篠原 立大、姫路 大輔、薮内 悠貴、湯浅美紗子

釜付 弘志、沖田 和久、大野 妙子、前田 雄洋、陣門 洋平

担当副会長 富田 雄二・担 当 理 事 青木 洋子、荒木 早苗

事 務 局 学術広報課 喜入 美香、杉田 秀博

印刷所 有限会社 ケイ・プロデュース・落丁・乱丁の際はお取り替えいたします。

定 価 350 円（但し、県医師会員の購読料は会費に含めて徴収してあります）